

令和4年3月31日

お知らせ

公益社団法人 京都市観光協会 (DMO KYOTO)
公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

京都市観光協会データ年報（2021年確報）について

（公社）京都市観光協会及び（公財）京都文化交流コンベンションビューローでは、京都市内の主要ホテルにおける国・地域別の宿泊状況等、京都観光に関するマーケティングデータを調査し、「データ月報」として毎月発表しております。このたび、令和3年（2021年1月～12月）の調査結果をまとめましたのでお知らせします。

調査結果のポイント

京都市内主要宿泊施設統計

京都市内主要ホテルにおける2021年の客室稼働率は31.1%となり、前年の34.5%を下回った

京都市内主要ホテルにおける2021年の客室稼働率は31.1%となった。前年の34.5%からは3.4ポイントの下落となり、2014年の統計開始以降の最低値を更新した。2020年は、新型コロナウイルスの感染が拡大する直前の1～2月まで外国人観光客による宿泊需要が残っており、夏以降のGoToトラベルキャンペーンの効果もあったため、年間で比較すると2021年のほうが低稼働となった（2022年1月31日に発表した速報値からの修正無し）（P10）。

2年連続で外国人延べ宿泊数がほぼゼロとなる一方で、日本人の延べ宿泊数は増加し、総数ではほぼ横ばい

京都市内主要ホテルにおける2021年の延べ宿泊数は2,888,755泊となり、前年比0.4%増となった。新型コロナウイルス感染症の影響で、一年を通じて外国人客がほぼゼロとなったことで、外国人延べ宿泊数の前年比は95.6%減と2年連続で大きく下落した。一方で、日本人延べ宿泊数は同14.5%増となった。コロナ禍前は外国人客によって早い時期から予約で埋まっていた客室が直前でも予約しやすくなったことに加えて、ワクチン接種や医療体制の強化が進んだことで、日本人客による宿泊が増加したものと考えられる（P12）。

コロナ禍前からの調査対象施設に絞ると、延べ宿泊数は前年比17.8%減、2019年比69.6%減

コロナ禍前から調査対象でかつ現在も営業している京都市内主要ホテル54軒に絞った場合、2021年の延べ宿泊数は、前年比17.8%減、2019年比69.6%減となった。日本人延べ宿泊数は、前年比4.0%減、2019年比38.2%減。外国人延べ宿泊数は、前年比96.9%減、2019年比99.7%減となった（P13）。

外国人比率は0.6%と、調査開始以降最低の割合となり、全国平均を下回った

調査対象施設における2021年の外国人比率は0.6%となり、調査開始以降最低となった。これは、観光庁の宿泊旅行調査における全国平均値である1.7%を下回っている。観光を目的とした外国人の入

国が認められておらず、東京五輪の参加者の滞在は一部の施設・地域に限られていた事によるものと考えられる（P15）。

平均客室単価は前年をわずかに上回るも、客室収益指数は過去最低を更新した

2021年の平均客室単価は11,226円となり、前年の12,422円から下落した。客室収益指数（平均客室単価に客室稼働率を乗じた指標で、1室あたりの売上高に相当する）は3,490円となり、前年の4,283円から18.5%下落して、集計開始以来の最低値を更新した（2022年1月31日に発表した速報値における前年値を修正）（P17）。

平均宿泊日数は、1.61日となり前年と同水準、2019年の1.78日からは減少した

2021年の平均宿泊日数は1.61日となり、前年の1.60日と同水準となった。2019年は1.78日であったため、コロナ禍の影響で滞在期間は短くなっている。滞在期間の長い外国人宿泊客の宿泊が少なくなったことが要因だと考えられる。なお、日本人宿泊客のみの平均宿泊日数も1.61日で、2019年の1.46日から0.15日増えた。在宅勤務の普及に伴うワーケーション目的などでの長期滞在利用が増えた事が影響したと考えられる（P20）。

一部屋当たり人数は、1.55人となり前年と同水準、2019年の1.81人から減少した

調査対象施設における2021年の平均宿泊人数は1.55人となり、前年の1.56人と同水準となった。2019年は1.81人であったため、コロナ禍の影響で一部屋当たりの人数は減っている。複数人での宿泊利用が多い外国人による利用が激減したことが要因であると考えられる。なお、日本人宿泊客のみの平均宿泊人数も1.55人で、2019年の1.66人から0.11人減となった。コロナ禍の影響で団体旅行が延期・中止になった事や感染を避けるため少人数での宿泊が増えた事が影響したと考えられる（P21）。

旅館の稼働率は26.8%と2年連続で20%台と低水準となり、一部期間を休業する施設も多かった

市内主要旅館32軒における、2021年4～12月の客室稼働率は26.8%となり、前年の23.6%から3.2ポイント増加したが、2年連続で低水準となった。また、1ヶ月あたりの延べ販売可能客室数は平均15,154室となり、本来販売可能であったと考えられる約2.3万室の6割にとどまった。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が適用される期間に休業する施設が多かったためである（P22）。

新規調査 修学旅行の宿泊数は、感染拡大により延期・中止が多くなり、コロナ禍前から6割減となった

回答のあった施設16軒（ホテル・旅館）における2021年度の修学旅行の宿泊数は、2019年から約6割減となった。本来、修学旅行シーズンであるはずの5～6月が緊急事態宣言期間となり、下半期に延期や中止となった。緊急事態宣言解除後の10月～12月は、延期分も含めてになった修学旅行が実施されたが、1月以降オミクロン株の感染拡大により、この時期に予定されていた修学旅行が再び中止・延期となった。なお、2022年度（2022年4月～翌2023年3月）の予約状況は、コロナ禍前より23.5%増加している。2021年度に実施予定であった修学旅行が、2022年度に延期されていることも一因と考えられる（P24）。

新規調査 国内宿泊客の居住地は、ホテルでは京都市・京都府の割合が増え、旅館は大きな変化はなかった

コロナ禍前後の宿泊客の居住地の内訳について聞いたところ、回答のあったホテル13軒においては、京都市および京都府からの宿泊客の割合がコロナ禍に入ってから年々拡大していることが分かった。京都府民を対象にした宿泊キャンペーンを利用した宿泊客が増えたためだと考えられる。一方、回答のあった旅館10軒においては、コロナ禍前と比較して大きな変化は無かった（P25）。

新規調査 宿泊プランの利用割合は、ホテルでは朝食・夕食付きプランが増え、旅館では素泊まりが増えた

コロナ禍前後の宿泊プランの内訳について聞いたところ、回答のあったホテル 16 軒においては、コロナ禍前と比較して、朝食・夕食付きプランの利用が増加したことが分かった。宿泊者が感染予防の為に施設内で食事をする傾向が強くなった事が要因として考えられる。一方、旅館 10 軒においては、コロナ禍前と比較して、素泊まりの割合が増加した。朝食・夕食付プランが標準である修学旅行が減少し、個人客は素泊まりを希望することが多かったためだと考えられる (P26)。

2021 年の市内宿泊施設数は、廃業が新規開業の約 2 倍となり、12 月末時点では前年同月から減少

市内の宿泊施設数は 2021 年 12 月末時点で 3,625 軒となり、前年同月の 3,863 軒から 238 軒の減少となった。年間を通して、新規開業 228 件、廃業 466 件となり、廃業が新規開業の約 2 倍となった。長引くコロナ禍で廃業を選択する施設が増加したものと思われる (P27)。

宿泊予約サイトにおける販売価格は、春と秋の繁忙シーズン以外はおおむね 15,000 円弱で推移

2021 年の京都市内ホテルにおける予約サイト上での販売価格は、3 月末から 4 月頭にかけて中央値が 2 万円を超えたものの、それ以降は緊急事態宣言などに連動して下落し、おおむね 15,000 円弱で推移した。その後、11 月下旬の週末は紅葉を目当てにした観光需要を背景に、約 24,000 円にまで上昇した (P30)。

京都観光マーケット分析

市内 39 地点の来街者数の動向は、緊急事態宣言などの影響により 2020 年から若干減少

スマートフォンの位置情報に基づく市内 39 地点の来街者の指数 (2019 年の平均値を 100 とする) は、2021 年は 66.9 となり、前年の 70.0 から 3.1 ポイント減となった。京都駅周辺の来訪者を年代別にみると、コロナ禍前と比較して高齢者の割合が減っているものの、11 月は 60 代以上が 35.0% と拡大し、コロナ禍前の水準を上回った。ワクチン接種が進んだことにより、高齢者が安心して旅行できる状況であったためだと考えられる (P31)。

免税件数は前年から大幅に縮小も、単価の上昇により、免税売上額は前年より 48.9% 減に留まった

免税件数は前年から 95.3% 減と大幅に縮小したが、免税単価の上昇により、免税売上額は前年より 48.9% 減に留まった。一方で、免税以外の売上げを含めた総売上高は、日本人による消費がある程度改善されたため、前年より 5.8% 増加した (P33)。

京都観光案内所の来所者数は、前年から約半減した

2021 年の京都総合観光案内所 (京なび) は臨時休業や開所時間の短縮により、来所者数が前年から 50.4% 減となった (P35)。

国内旅行者の訪問意向は、緊急事態宣言の影響で上半期は低迷したが、10 月以降は回復傾向になる

2021 年の「行こう指数」は、緊急事態宣言の影響で上半期に低迷したが、10 月以降は緊急事態宣言が解除されたことで回復傾向にある。それまで長く続いた自粛期間の反動により、旅行意欲が急激に高まったものとみられる (P36)。

海外旅行者の訪問意向は、東京五輪の影響で一時的に上がったものの、コロナ禍前の 7 割減を推移

Google における宿泊および航空に関する検索行動の公開データ (Google Travel Trends) によると、全世界からの訪日旅行に関する需要指数は、7~8 月のみ東京五輪の影響で一時的に指数が回復したものの、それ以外の月はおおむねコロナ禍前の 2019 年から 7 割減で推移した。一方で、全世界間の国際旅行に関する需要指数は徐々に回復傾向にあり、10~11 月はコロナ禍前と同水準にまで回復した。しかしながら、オミクロン株の影響により 12 月は再び下落した。

これを主要地域別に比較すると、米国やフランスは、他国と比べると需要指数の回復が顕著であった。欧米では入国制限が緩和されたことで、国際旅行の機運が高まっていたことが分かる。一方で、シンガポールなどアジア諸国は2020年に引き続き低水準に留まった。欧米と比べると水際対策が厳しく、国際旅行の潜在需要は比較的少ないと考えられる（P37）。

2022年の見通し

2021年は2020年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で観光産業が大きな打撃を受けた。変異株の拡大により、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が度々適用されつつも、秋以降はワクチン接種率の上昇に伴い、旅行需要が一時的に回復した。

国内では、オミクロン株の感染者数が減少傾向となり、2022年の年明けから続いていたまん延防止等重点措置が3月21日に全面解除された。早速、府民限定の宿泊キャンペーンが再開され、今後は近隣県民への適用拡大、全国的なGoToキャンペーンの再開も検討されている。2020年のGoToトラベルキャンペーン以降のリベンジ消費も期待される。

世界的には入国制限の緩和が進んでおり、日本でもビジネス目的や留学生の入国が再開された。今後、新たな脅威となる変異株が拡大しない限りは、入国制限の緩和と観光業における回復基調は続くとみられ、訪日外国人客の受け入れ再開に備える必要がある。とはいえ、ウクライナにおける紛争に起因した原油の高騰に伴い、航空輸送の燃油サーチャージの上昇が予想されるなど、当面は不安定な市場環境が続くと考えられる。引き続き、市場環境の把握に役立つデータの収集に努め、市内観光事業者の経営支援に繋げたい。

参考：新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言等の期間（京都・東京）

時期	京都	東京	
2020年	4月 緊急事態宣言（1回目） 4月16日～5月21日	緊急事態宣言（1回目） 4月7日～5月25日	
	5月		
	6月 他府県への移動自粛 5月22日～6月19日	他府県への移動自粛 5月26日～6月19日	
	7月		
	8月 GoToトラベル キャンペーン 7月22日～12月27日		
	9月		
	10月	GoToトラベルキャンペーン 10月1日～12月27日 ※東京が目的地	
	11月		もっと楽しもう！ TokyoTokyo 10月23日～ 11月28日
	12月		
2021年	1月 緊急事態宣言（2回目） 1月14日～2月28日	緊急事態宣言（2回目） 1月8日～3月21日	
	2月		
	3月		
	4月 まん延防止等重点措置 4月12日～4月24日	まん延防止等重点措置 4月12日～4月24日	
	5月 緊急事態宣言（3回目） 4月25日～6月20日	緊急事態宣言（3回目） 4月25日～6月20日	
	6月 まん延防止等重点措置 6月21日～7月11日	まん延防止等重点措置 6月21日～7月11日	
	7月		
	8月 まん延防止等重点措置 8月2日～8月19日 緊急事態宣言（4回目） 8月20日～9月30日	緊急事態宣言（4回目） 7月12日～9月30日	東京五輪 7月23日～8月8日オリ ンピック 8月24日～9月5日パラ リンピック
	9月		
	10月		
11月 きょうと魅力再発見旅 プロジェクト 10月22日～2月1日		KYOTOagain! 11月1日～ 12月31日	
12月 ※1/4～近隣府県民に拡大 ※1/12～近隣府県民、順次新規予約停止 ※1/26～京都府民の予約停止			
2022年	1月		
	2月 まん延防止等重点措置 1月27日～3月21日	平日の京都へ！おこし やすキャンペーン 1月17日～2月28日	まん延防止等重点措置 1月21日～3月21日
	3月 きょうと魅力再発見旅プロジェクト 3月22日～4月28日※京都府民限定		

出所）京都市 HP、東京都 HP、GoTo トラベルキャンペーン HP 等を参考に京都市観光協会で作成

調査概要

調査対象

京都市内における日本人および外国人の宿泊状況等をタイムリーに把握できるよう、平成26年（2014年）4月以降、京都市内の主なホテルの協力を得て、国・地域別の調査を毎月実施。なお、本調査では、ビジネス、観光を問わず、日本国籍以外のパスポートを有する人すべてを「外国人」として定義している。

	20日間以上 休業	10～19日間 休業	1～9日間 休業	休業 なし	調査対象 施設数	客室数
2014年度末	—	—	—	—	25	7,619
2015年度末	—	—	—	—	28	7,837
2016年度末	—	—	—	—	34	9,083
2017年度末	—	—	—	—	37	9,182
2018年度末	—	—	—	—	54	11,637
2019年度末	—	—	—	—	59	12,796
2020年1月	0	0	0	58	58	12,647
2020年2月	0	0	0	59	59	12,519
2020年3月	0	0	0	59	59	12,796
2020年4月	13	8	2	33	57	12,389
2020年5月	31	1	1	22	55	11,823
2020年6月	18	3	2	36	59	12,342
2020年7月	6	0	0	55	61	12,776
2020年8月	5	1	0	57	63	13,208
2020年9月	6	0	0	58	64	14,921
2020年10月	3	0	0	62	65	13,685
2020年11月	3	0	0	63	66	14,381
2020年12月	4	0	0	64	68	14,081
2021年1月	5	1	6	56	68	13,837
2021年2月	10	2	0	56	68	13,762
2021年3月	4	1	2	74	81	15,330
2021年4月	4	1	1	88	94	16,997
2021年5月	10	1	1	83	95	16,762
2021年6月	9	1	1	87	98	17,613
2021年7月	3	1	2	93	99	17,897
2021年8月	3	1	1	95	100	17,771
2021年9月	4	0	0	96	100	17,593
2021年10月	3	0	0	100	103	18,120
2021年11月	3	1	0	101	105	18,280
2021年12月	4	0	0	100	104	18,257

注) 前年と本年では対象施設数・客室数が異なり、毎月の調査では当月だけでなく前年同月の数値もいただいているため、今回発表する前年の数値は昨年発表した数値と異なる場合がある。

新型コロナウイルス感染症の拡大等に伴う臨時的な休業の扱いについて

調査対象期間、対象ホテルが臨時的に休業した場合は、通常営業していた期間のみを対象にして客室稼働率を算出する。

例) 100 部屋を有するホテルが、以下のように営業をしていた場合

- ① 1月1日～10日期間(10日)は100室のまま通常営業し、利用のあった客室数は200室
- ② 1月11日～20日期間(10日)は50室に絞って営業し、利用のあった客室数は100室
- ③ 1月21日～31日の期間(11日)は休業

販売可能客室数：100室×10日(①期間) + 50室×10日(②期間) = 1,500室

客室稼働率：利用のあった客室数300室 ÷ 営業期間中の販売可能客室数1,500室 = 20%

用語の定義

延べ宿泊数	宿泊した人の宿泊数の合計 例) Aさん1泊、Bさん3泊の場合、Aさん1泊+Bさん3泊=4人(泊)
実宿泊数	宿泊施設に宿泊した人の人数 例) Aさん1泊、Bさん3泊の場合、Aさん1人+Bさん1人=2人
販売可能客室数	日々販売されている客室数の月間累積値を示す。 例) 100部屋を有するホテルにて、20室が改装工事中、80室を30日間販売していた場合、販売可能客室数：80室×30日=2,400室
稼働客室数	宿泊客が実際に利用した客室数
客室稼働率(OCC)	「販売可能客室数」における「稼働客室数」の割合
平均客室単価(ADR)	稼働した全ての客室の販売価格の平均値。P18の客室収益指数(RevPAR)等の数値は、ホテルデータサービス会社STR(本社：イギリス・ロンドン)からの提供によるもので、上記の施設とは対象が一部異なる。
客室収益指数(RevPAR)	客室稼働率に平均客室単価を乗じた値であり、宿泊施設の経営指標として重視されている。
外国人比率	「総延べ人数」における「外国人延べ人数」の割合
前年比	「当年の数値」を「前年の数値」で割り、1を差し引いた値
構成比	「外国人延べ人数」における「各国・地域の延べ人数」の割合

参照した外部データ

観光庁「宿泊旅行統計」	<ul style="list-style-type: none">● 京都市全体の宿泊数（標本調査に基づく拡大推計）● 日本全体の宿泊数（標本調査に基づく拡大推計）
日本政府観光局（JNTO） 「訪日外客数」	<ul style="list-style-type: none">● 日本全体における国・地域別の入国者数
STR ホテル産業データ	<ul style="list-style-type: none">● 国内外主要都市の客室稼働率、平均客室単価
KDDI Location Analyzer	<ul style="list-style-type: none">● スマートフォンの位置情報をもとにした、来訪者の年代別の内訳
Google Travel Trends	<ul style="list-style-type: none">● Google 上での宿泊・航空に関する検索行動に関する指標
京都市保健福祉局 「営業許可施設数」	<ul style="list-style-type: none">● 市内宿泊施設の件数および客室数
OAG フライトデータ	<ul style="list-style-type: none">● 国際便定期路線座席数の前年比
三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング 「外国為替相場」	<ul style="list-style-type: none">● 主要通貨の為替相場の月別推移

【索引】

1. 京都市内主要ホテル統計	10
1.1 客室稼働率.....	10
1.2 延べ宿泊数.....	12
1.3 外国人比率.....	15
1.4 客室平均単価.....	17
1.5 1人当たり平均宿泊日数.....	20
1.6 1部屋当たり平均宿泊人数.....	21
2. 京都市内主要旅館統計	22
3. 京都市内宿泊市場の分析	24
3.1 修学旅行市場の動向.....	24
3.2 国内宿泊客の居住地の割合.....	25
3.3 利用宿泊プランの変化.....	26
3.4 宿泊施設数・客室数.....	27
3.5 宿泊予約サイトにおける客室販売価格.....	30
4. 京都観光客の動向分析	31
4.1 スマートフォンの位置情報に基づく国内観光客の人流.....	31
4.2 京都市内4百貨店の売上げ.....	33
4.3 京都総合観光案内所（京なび）利用者数 ※ J R 京都駅ビル2階.....	35
4.4 国内旅行者の入洛意向.....	36
4.5 外国人観光客の訪日意向.....	37
5. その他資料	39
5.1 京都観光に影響を及ぼした主な出来事.....	39
5.2 航空定期路線の就航状況.....	40
5.3 為替レートの推移.....	41
6. 本資料の利用について	42

1. 京都市内主要ホテル統計

1.1 客室稼働率

(1) 年次推移

- 京都市内主要ホテルにおける 2021 年の客室稼働率は 31.1%となった。前年の 34.5%からは 3.4 ポイントの下落となり、2014 年の統計開始以降の最低値を更新した。2020 年は、新型コロナウイルスの感染が拡大する直前の 1~2 月まで外国人観光客による宿泊需要が残っており、夏以降の GoTo トラベルキャンペーンの効果もあったため、年間で比較すると 2021 年のほうが低稼働となった。
- 京都市全体（旅館や簡易宿所も含む）における 2021 年の客室稼働率（宿泊旅行統計調査の回答から京都市内全体として拡大推計）は 24.9%であり、本調査の対象ホテルの客室稼働率より 6.2 ポイント下回った。
- 2019 年以前は、本調査の対象ホテルの客室稼働率が全国を 20 ポイント程度上回っていたが、2020 年以降は全国よりも低水準となったことから、他地域よりも京都の宿泊施設が受けた影響は大きいといえる。

客室稼働率 (%) の年次推移の比較

データ元	データ年報 (市内主要ホテル)	宿泊旅行統計 (京都市)	宿泊旅行統計 (全国)
2014年	85.5	79.8	67.2
2015年	88.9	81.8	70.6
2016年	88.6	79.9	70.1
2017年	88.1	75.9	72.0
2018年	85.4	74.3	72.7
2019年	81.2	71.9	72.8
2020年	34.5	28.1	36.0
2021年	31.1	24.9	35.3

2020年以前の市内主要ホテルのデータは、それぞれ翌年時点の調査で回答のあった値で集計している

(2020年の値は、2021年の調査対象施設における前年の値であり、2020年調査時点の数値とは異なる)

(2) 月別の値の前年比較

- 本調査の対象ホテルの客室稼働率を月別にみると、1月、2月、5月が10%台と、緊急事態宣言期間と連動する形で、急激に落ち込んだ。8月、9月は緊急事態宣言期間ではあったが、お盆期間は含まれなかった事もあり、稼働率の落ち込み幅はそれ以前の緊急事態宣言期間よりも小さかった。
- 緊急事態宣言が全面解除された10月以降は、ワクチン接種率の上昇や京都府民限定の宿泊キャンペーンなどの影響もあり、稼働率60%近くまで回復し、12月時点ではコロナ禍前から19.0ポイント減まで回復した。

月別の客室稼働率 (%)

	2021年	2020年	前年差 (pts)	2019年	前々年差 (pts)
1月	12.5	66.8	▲ 54.2	65.6	▲ 53.0
2月	18.6	53.9	▲ 35.3	78.5	▲ 59.8
3月	31.5	29.3	2.2	85.0	▲ 53.5
4月	20.6	5.7	14.9	89.9	▲ 69.3
5月	16.7	8.1	8.6	83.1	▲ 66.4
6月	20.6	14.6	6.0	80.8	▲ 60.2
7月	30.6	19.9	10.7	77.1	▲ 46.5
8月	26.8	23.4	3.4	83.3	▲ 56.5
9月	27.0	32.9	▲ 5.9	82.9	▲ 55.9
10月	39.1	40.6	▲ 1.6	86.1	▲ 47.1
11月	59.6	63.3	▲ 3.8	88.2	▲ 28.6
12月	55.3	40.0	15.3	74.3	▲ 19.0
年間	31.1	34.5	▲ 3.4	81.2	▲ 50.1

2020年以前のデータは、それぞれ翌年時点の調査で前年値として回答のあった値で集計している

(たとえば、2020年の値は、2021年の調査対象施設における前年の値であり、2020年調査時点の数値とは異なる)

(3) 月別繁閑差

- 2021年の最繁忙期は11月、最閑散期は1月となった。1月は緊急事態宣言の影響で例年の稼働率よりも低くなった為、繁閑差は47.1ポイントとなったが、調査開始以降最大の繁閑差であった前年2020年の63.0ポイントからは小さくなった。

月別繁閑差

データ元	最繁忙月 稼働率 (%)	最閑散月 稼働率 (%)	繁閑差
2014年	97.8% (4月)	80.8% (7月)	17.0
2015年	94.3% (11月)	65.7% (1月)	28.6
2016年	93.2% (11月)	73.2% (1月)	20.0
2017年	94.5% (4月)	77.3% (1月)	17.2
2018年	94.1% (4月)	73.4% (1月)	20.7
2019年	89.9% (4月)	65.6% (1月)	24.3
2020年	68.8% (1月)	5.8% (4月)	63.0
2021年	59.6% (11月)	12.5% (1月)	47.1

1.2 延べ宿泊数

(1) 年次推移

- 京都市内主要ホテルにおける2021年の延べ宿泊数は2,888,755泊となり、前年比0.4%増、2019年比56.1%減となった。日本人延べ宿泊数は、前年比14.5%増、2019年比10.9%減、外国人延べ宿泊数は、前年比95.6%減、2019年比99.5%減であった。

総宿泊数

年	調査対象 施設数	宿泊数	前年比 (%)	2019年比 (%)
2014	28	4,623,317	△33.9%	—
2015	34	5,096,385	△10.2%	—
2016	37	5,431,705	△6.6%	—
2017	54	5,364,962	▼1.2%	—
2018	59	5,972,673	△11.3%	—
2019	68	6,576,252	△10.1%	—
2020	105	2,876,753	▼56.3%	▼56.3%
2021	105	2,888,755	△0.4%	▼56.1%

日本人宿泊数

年	調査対象 施設数	宿泊数	前年比 (%)	2019年比 (%)
2014	28	3,201,279	△26.5%	—
2015	34	3,158,963	▼1.3%	—
2016	37	3,184,349	△0.8%	—
2017	54	3,046,772	▼4.3%	—
2018	59	3,154,439	△3.5%	—
2019	68	3,224,871	△2.2%	—
2020	105	2,509,918	▼22.2%	▼22.2%
2021	105	2,872,663	△14.5%	▼10.9%

外国人宿泊数

年	調査対象 施設数	宿泊数	前年比 (%)	2019年比 (%)
2014	28	1,422,038	△54.3%	—
2015	34	1,937,422	△36.2%	—
2016	37	2,247,356	△16.0%	—
2017	54	2,318,190	△3.2%	—
2018	59	2,818,234	△21.6%	—
2019	68	3,351,381	△18.9%	—
2020	105	366,835	▼89.1%	▼89.1%
2021	105	16,092	▼95.6%	▼99.5%

※2020年以前のデータは、それぞれ翌年時点の調査で前年値として回答があった値で集計

観光庁「宿泊旅行統計調査」との比較（2021年）

	京都市全体（拡大推計）		全国（拡大推計）	
		京都市に占める 主要ホテルの 割合（%）		全国に占める 京都市の 割合（%）
日本人宿泊数	11,323,817	25.4	214,225,617	1.3
外国人宿泊数	109,882	14.6	3,708,732	0.4
総宿泊数	11,409,226	25.3	217,909,875	1.3

※各宿泊数は拡大推計値であり、総宿泊数は日本人宿泊数、外国人宿泊数の合算とは一致しない

（2） 年次推移（コロナ禍前から営業している施設のみ）

- コロナ禍前から調査対象の京都市内主要ホテル 54 軒に絞った場合、2021 年の延べ宿泊数は、前年比 17.8%減、2019 年比 69.6%減となった。日本人延べ宿泊数は、前年比 4.0%減、2019 年比 38.2%減。外国人延べ宿泊数は、前年比 96.9%減、2019 年比 99.7%減となった。

総宿泊数（54 施設）

年	宿泊数	前年比（%）	2019 年比（%）
2019	6,323,076	-	-
2020	2,338,207	▼63.0%	▼63.0%
2021	1,922,667	▼17.8%	▼69.6%

日本人宿泊数（54 施設）

年	宿泊数	前年比（%）	2019 年比（%）
2019	3,091,470	-	-
2020	1,991,514	▼35.6%	▼35.6%
2021	1,912,010	▼4.0%	▼38.2%

外国人宿泊数（54 施設）

年	宿泊数	前年比（%）	2019 年比（%）
2019	3,231,606	-	-
2020	346,693	▼89.3%	▼89.3%
2021	10,657	▼96.9%	▼99.7%

（3） 前年比の年次推移

- 延べ宿泊数の前年比の推移を、本調査対象のホテルと京都市全体（拡大推計）とのあいだで比較すると、調査対象施設は前年比 0.4%増、京都市全体は同 12.7%減となった。京都市全体には簡易宿所なども含まれている為、ホテルよりも簡易宿所や旅館の方がコロナ禍での落ち込みが大きいといえる。
- 全国と京都市の動向を比較すると、全国の方が前年比の伸び率が高くなっている。コロナ禍では京都のような都市型の観光地ではなく郊外のリゾート地が選ばれる傾向にあると考えられる。

京都市内主要ホテルにおける主要指標の年次推移

	日本人延べ宿泊数		外国人延べ宿泊数		総延べ宿泊数	
	前年比 (%)		前年比 (%)		前年比 (%)	
2015年		▼ 1.3		△ 36.2		△ 10.2
2016年		△ 0.8		△ 16.0		△ 6.6
2017年		▼ 4.3		△ 3.2		▼ 1.2
2018年		△ 3.5		△ 21.6		△ 11.3
2019年		△ 2.2		△ 18.9		△ 10.1
2020年		▼ 22.2		▼ 89.1		▼ 56.3
2021年		△ 14.5		▼ 95.6		△ 0.4

主要指標の年次推計（宿泊旅行統計における京都市のデータ）

	日本人宿泊数		外国人宿泊数		総宿泊数	
	前年比 (%)		前年比 (%)		前年比 (%)	
2015年		▼ 9.0		△ 62.8		△ 4.4
2016年		▼ 9.0		▼ 8.1		▼ 8.7
2017年		▼ 1.4		△ 17.7		△ 4.1
2018年		▼ 2.7		△ 7.8		△ 0.8
2019年		△ 0.5		△ 22.8		△ 8.3
2020年		▼ 6.9		▼ 79.0		▼ 35.7
2021年		△ 0.6		▼ 93.6		▼ 12.9

主要指標の年次推計（宿泊旅行統計における全国のデータ）

	日本人宿泊数		外国人宿泊数		総宿泊数	
	前年比 (%)		前年比 (%)		前年比 (%)	
2015年		△ 6.0		△ 61.3		△ 12.2
2016年		▼ 2.3		△ 5.4		▼ 1.0
2017年		△ 0.7		△ 14.7		△ 3.1
2018年		△ 0.4		△ 13.4		△ 2.9
2019年		△ 6.0		△ 15.6		△ 8.1
2020年		▼ 34.0		▼ 81.8		▼ 44.8
2021年		△ 9.3		▼ 76.7		△ 2.8

※2020年以前のデータは、それぞれ翌年時点の調査で前年値として回答があった値で集計

(4) 前年同月比の月次推移

京都市内主要ホテルにおける2021年の主要指標の月次推移

	日本人延べ宿泊数		外国人延べ宿泊数		総延べ宿泊数	
	前年比 (%)		前年比 (%)		前年比 (%)	
1月		▼ 65.1		▼ 99.8		▼ 82.4
2月		▼ 58.2		▼ 99.5		▼ 70.3
3月		△ 24.4		▼ 91.5		△ 8.0
4月		△ 391.2		▼ 39.1		△ 372.3
5月		△ 420.3		△ 247.4		△ 419.0
6月		△ 94.0		△ 23.2		△ 93.5
7月		△ 82.4		△ 69.2		△ 82.3
8月		△ 30.4		△ 67.8		△ 30.5
9月		▼ 12.9		△ 0.4		▼ 12.8
10月		▼ 2.8		△ 19.4		▼ 2.7
11月		△ 1.7		▼ 4.7		△ 1.6
12月		△ 55.7		△ 2.4		△ 55.4

1.3 外国人比率

(1) 年次推移

- 本調査対象ホテルにおける2021年の外国人比率は0.6%となり、調査開始以降最低となった。
- 本調査対象ホテルや京都市の外国人比率は全国の外国人比率を下回っている。観光を目的とした外国人の入国が認められておらず、東京オリンピックは一部の施設・地域に限られていた事が影響していたと考えられる。

外国人比率 (%) の年次推移の比較

データ元	データ年報 (市内主要ホテル)	宿泊旅行統計 (京都市)	宿泊旅行統計 (全国)
2014年	30.8	18.6	9.5
2015年	38.0	29.0	13.0
2016年	41.4	29.2	14.1
2017年	43.2	33.0	15.6
2018年	47.2	35.3	17.5
2019年	51.0	40.0	19.4
2020年	12.8	14.4	5.9
2021年	0.6	1.0	1.7

(2) 前年同月比の月次推移

- 外国人比率を月別にみると、入国制限の影響を受け、年間を通してほぼ0%に近い比率で推移した。

月別の外国人比率 (%)

	2021年	2020年	前年差 (pts)	2019年	前々年差 (pts)
1月	0.6	49.9	▼ 49.3	45.3	▼ 44.7
2月	0.5	29.2	▼ 28.7	46.0	▼ 45.5
3月	1.1	14.2	▼ 13.1	47.3	▼ 46.2
4月	0.6	4.4	▼ 3.8	60.0	▼ 59.4
5月	0.5	0.8	▼ 0.3	49.2	▼ 48.7
6月	0.5	0.7	▼ 0.3	55.2	▼ 54.7
7月	0.5	0.5	▼ 0.0	57.4	▼ 56.9
8月	0.5	0.4	△ 0.1	51.3	▼ 50.8
9月	0.5	0.4	△ 0.1	49.8	▼ 49.3
10月	0.5	0.4	△ 0.1	55.5	▼ 55.0
11月	0.5	0.6	▼ 0.0	46.8	▼ 46.3
12月	0.4	0.7	▼ 0.2	44.9	▼ 44.5

※国籍別の集計結果は、京都市観光協会公式 HP のダッシュボードページをご参照ください。

ダッシュボードページは京都市観光協会・京都コンベンションビューロー会員であれば無償で利用が可能です（非会員は有償利用）。詳細、申込は、以下のページよりお願いいたします。

<https://www.kyokanko.or.jp/dashboard>

1.4 客室平均単価

(1) 月別の値

- 調査対象施設における2021年の平均客室単価は11,226円となり、前年の12,422円から下落した。客室収益指数（平均客室単価に客室稼働率を乗じた指標で、1室あたりの売上高に相当する）は3,490円となり、前年の4,283円から18.5%下落して、集計開始以来の最低値を更新した。1万円を超えていたコロナ禍前までの客室収益指数と比較すると、2021年も極めて厳しい経営状況であったと言える。

月別の平均客室単価

	2021年(円)	2020年(円)	前年比(%)	2019年(円)	2019年比(%)
1月	12,736	12,912	▼1.4	12,906	▼1.3
2月	11,080	11,250	▼1.5	12,631	▼12.3
3月	13,284	12,712	△4.5	17,341	▼23.4
4月	12,544	12,932	▼3.0	22,519	▼44.3
5月	10,893	10,375	△5.0	17,316	▼37.1
6月	9,016	10,614	▼15.1	13,478	▼33.1
7月	10,196	10,911	▼6.6	13,947	▼26.9
8月	9,030	10,539	▼14.3	13,763	▼34.4
9月	8,823	11,455	▼23.0	13,081	▼32.6
10月	10,314	12,385	▼16.7	16,733	▼38.4
11月	14,703	17,527	▼16.1	20,451	▼28.1
12月	12,361	13,351	▼7.4	13,728	▼10.0
年間加重平均	11,226	12,422	▼9.6	15,675	▼28.4

注) 加重平均は、各月の販売客室数で重みづけして集計している。

月別の客室収益指数

	2021年(円)	2020年(円)	前年比(%)	2019年(円)	2019年比(%)
1月	1,598	8,621	▼81.5	8,460	▼81.1
2月	2,063	6,068	▼66.0	9,910	▼79.2
3月	4,184	3,728	△12.2	14,744	▼71.6
4月	2,581	734	△251.7	20,237	▼87.2
5月	1,814	836	△117.1	14,387	▼87.4
6月	1,861	1,552	△19.9	10,895	▼82.9
7月	3,124	2,174	△43.7	10,757	▼71.0
8月	2,423	2,471	▼1.9	11,463	▼78.9
9月	2,380	3,765	▼36.8	10,840	▼78.0
10月	4,029	5,032	▼19.9	14,412	▼72.0
11月	8,758	11,099	▼21.1	18,033	▼51.4
12月	6,831	5,334	△28.1	10,200	▼33.0
年間加重平均	3,490	4,283	▼18.5	12,731	▼72.6

注) 加重平均は、各月の販売客室数で重みづけして集計している。

(2) 客室収益指数等の他都市比較 (出典：STR)

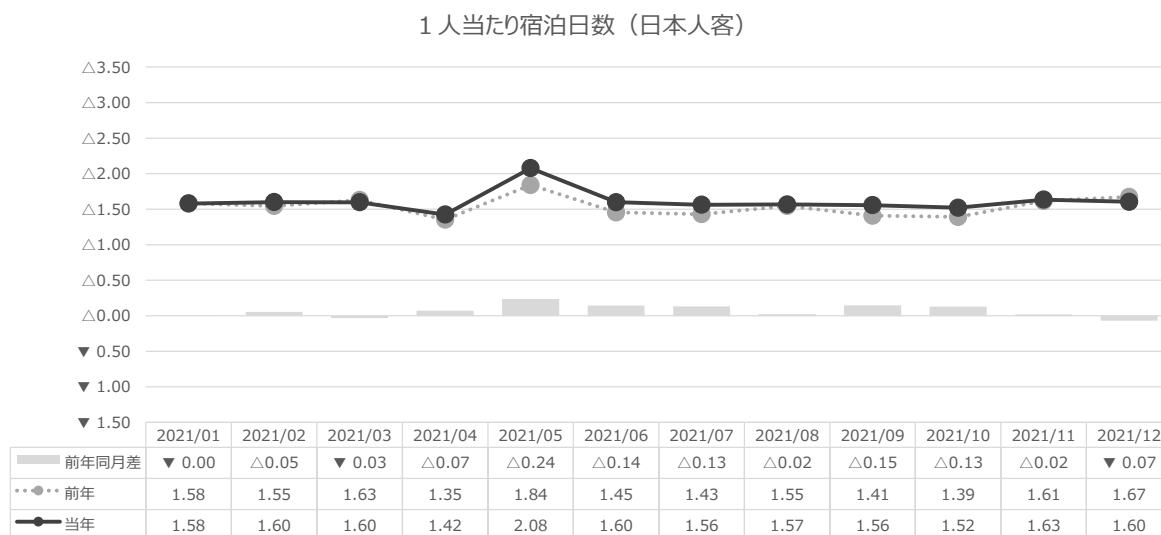
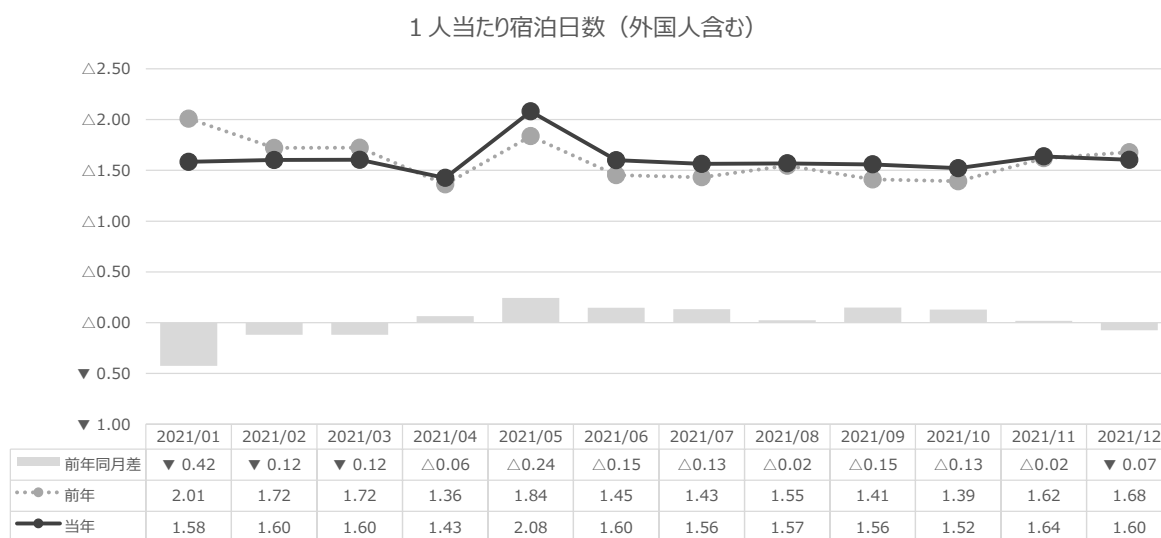
STRとの契約の都合上、過去のデータについては
非公開とさせていただきます。
何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

STRとの契約の都合上、過去のデータについては
非公開とさせていただきます。
何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

1.5 1人あたり平均宿泊日数

- 2021年の平均宿泊日数は1.61日となり、前年の1.60日と同水準となった。2019年は1.78日であったため、コロナ禍の影響で滞在期間は短くなっている。滞在期間の長い外国人宿泊客の宿泊が少なくなったことが要因だと考えられる。
- 日本人宿泊客のみの平均宿泊日数も1.61日で、2019年の1.46日から0.15日増えた。在宅勤務の普及に伴うワーケーション目的などでの長期滞在利用が増えた事が影響したと考えられる。

月別の1人あたり宿泊日数



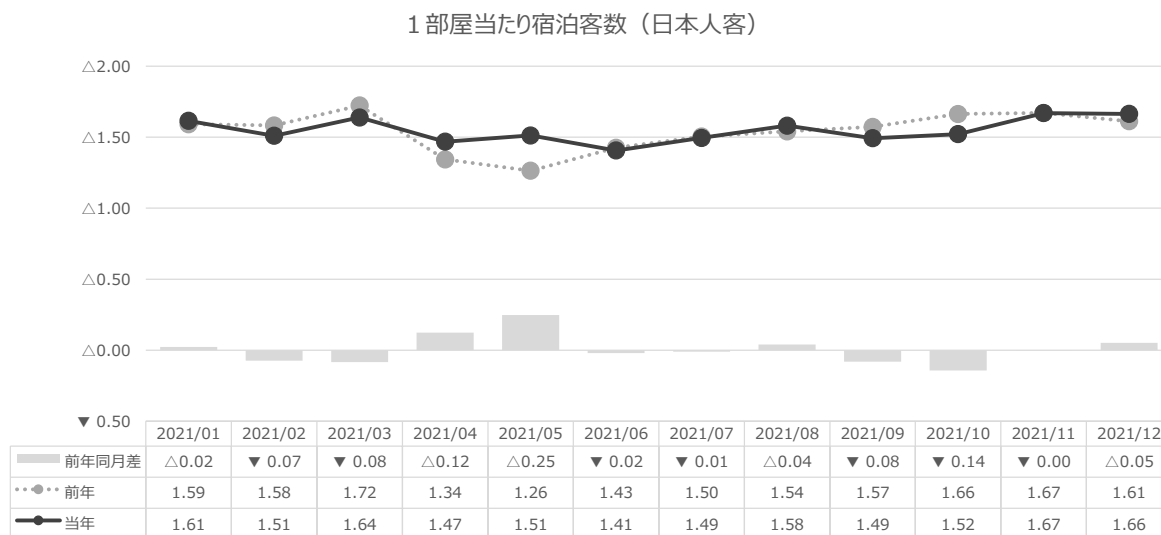
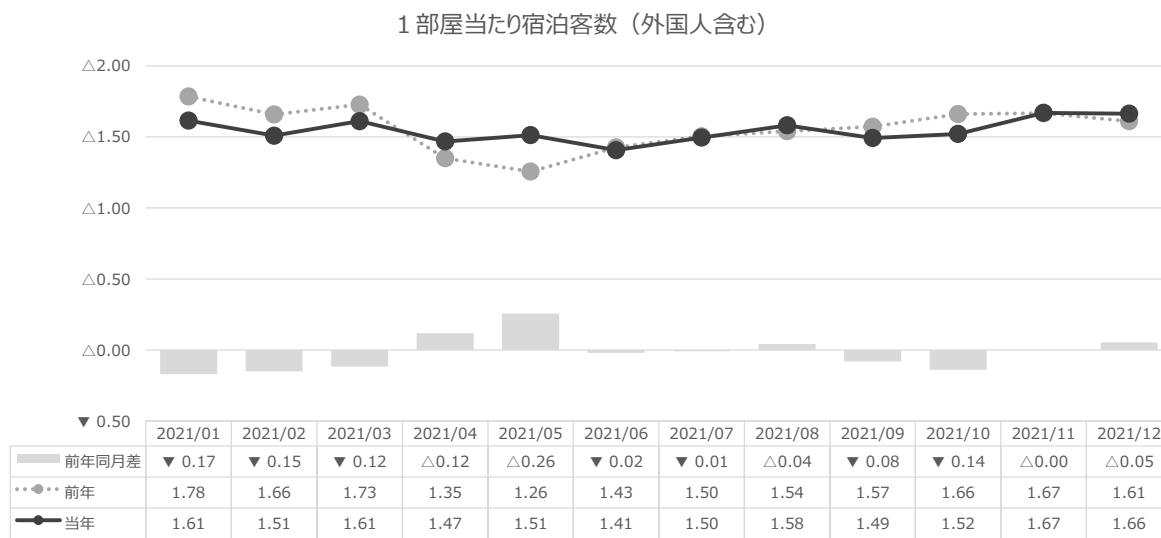
1人あたり宿泊日数の年次推移

	2021年	2020年	前年比 (%)	2019年	前々年比 (%)
総宿泊客 (外国人含む)	1.61	1.60	△ 0.6	1.78	▼ 9.6
日本人宿泊客	1.61	1.54	△ 4.5	1.46	△ 10.3

1.6 1 部屋当たり平均宿泊人数

- 調査対象施設における 2021 年の平均宿泊人数は 1.55 人となり、前年の 1.56 人と水準となった。2019 年は 1.81 人であったため、コロナ禍の影響で 1 部屋当たりの人数は減っている。複数人での宿泊利用が多い外国人による利用が激減したことが要因であると考えられる。
- 日本人宿泊客のみの平均宿泊人数も 1.55 人で、2019 年の 1.66 人から 0.11 人減となった。コロナ禍の影響で団体旅行が延期・中止になった事や感染を避けるため少人数での宿泊が増えた事が影響したと考えられる。

月別の 1 部屋当たり宿泊人数



1 部屋当たり宿泊人数の年次推移

	2021年	2020年	前年比 (%)	2019年	前々年比 (%)
総宿泊客 (外国人含む)	1.55	1.56	▼ 0.6	1.81	▼ 14.4
日本人宿泊客	1.55	1.54	△ 0.6	1.66	▼ 6.6

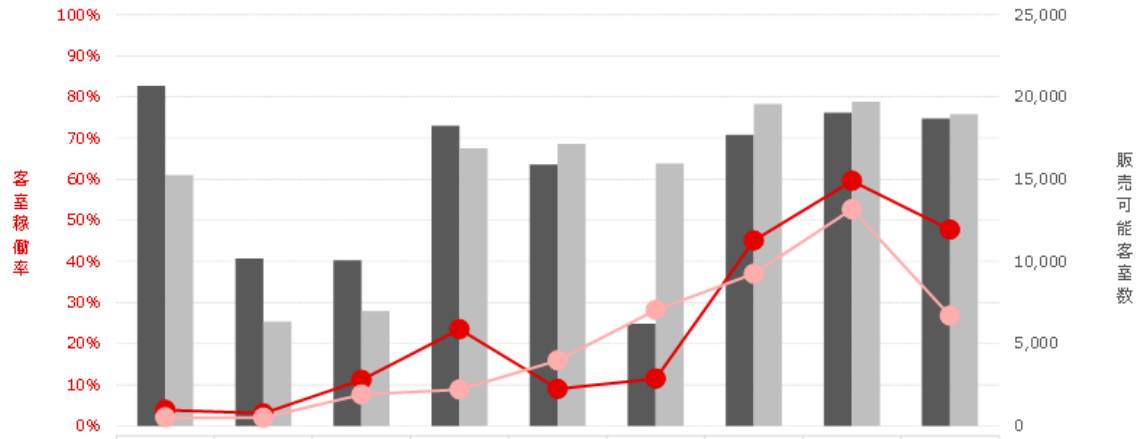
2. 京都市内主要旅館統計

- 市内主要旅館 32 軒（市内客室カバー率約 14.5%）における 2021 年 4～12 月の客室稼働率は 26.8% となり、前年の 23.6% から 3.2 ポイント増加したが、2 年連続で低水準となった。度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響により、他府県からの宿泊が少なくなったことが影響していると考えられる。
- 総延べ宿泊数および日本人延べ宿泊数は、2020 年比で 38.3% 増となった。昨年と比較すると、修学旅行が予定通り催行されたり、ワクチン接種率の上昇により感染不安が弱まった為であると考えられる。
- 1 ヶ月の延べ販売可能客室数の平均 15,154 室となり、本来販売可能であったと考えられる約 2.3 万室の約 6 割にとどまった。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が適用される期間に休業する施設が多かったためである。

旅館統計

	2021年 4月～12月	2020年 4月～12月	前年差	前年比
販売可能客室数 (1カ月の延べ数)	136,388	136,358	△ 30	△ 0.0%
稼働客室数 (月間)	36,618	32,187	△ 4,431	△ 13.8%
客室稼働率	26.8%	23.6%	△ 3.2	△ 13.7%
総延べ宿泊数	133,388	97,083	△ 36,305	△ 37.4%
総実宿泊客数	95,840	74,451	△ 21,389	△ 28.7%
一部屋当たり客数	3.64	3.02	△ 0.63	△ 20.8%
一人当たり宿泊日数	1.39	1.30	△ 0.09	△ 6.7%
日本人延べ宿泊数	133,248	96,378	△ 36,870	△ 38.3%
日本人実宿泊客数	95,746	74,011	△ 21,735	△ 29.4%
一人当たり宿泊日数 (日本人)	1.39	1.30	△ 0.09	△ 6.9%
外国人延べ宿泊数	140	705	▼ 565.00	▼ 80.1%
外国人実宿泊客数	94	440	▼ 346.06	▼ 78.6%
一人当たり宿泊日数 (外国人)	1.49	1.60	▼ 0.12	▼ 7.2%
外国人比率	0.1%	0.7%	▼ 0.6	▼ 86%
価格変動率	△ 11.1%	-	-	-

京都市内主要旅館の販売可能客室数・稼働率の推移



	2021年4月	2021年5月	2021年6月	2021年7月	2021年8月	2021年9月	2021年10月	2021年11月	2021年12月
■ 販売可能客室数	20,667	10,183	10,068	18,238	15,891	6,210	17,690	19,047	18,688
■ 販売可能客室数 (前年同月)	15,242	6,357	6,978	16,877	17,155	15,948	19,572	19,703	18,946
● 客室稼働率	3.9%	3.0%	11.2%	23.5%	9.0%	11.5%	45.1%	59.6%	47.7%
● 客室稼働率 (前年同月)	2.1%	2.0%	7.6%	8.8%	15.9%	28.2%	37.0%	52.7%	26.8%

3. 京都市内宿泊市場の分析

3.1 修学旅行市場の動向

- 回答のあった施設 16 軒（ホテル・旅館）における 2021 年度の修学旅行の宿泊数は、2019 年から約 6 割減となった。本来、修学旅行シーズンであるはずの 5～6 月が緊急事態宣言期間となり、下半期に延期や中止となった。緊急事態宣言解除後の 10 月～12 月は、延期分も含めて修学旅行が実施されたが、1 月以降のオミクロン株の感染拡大により、この時期に予定されていた修学旅行が再び中止・延期となった。
- 2022 年度（2022 年 4 月～翌 2023 年 3 月）の予約状況は、コロナ禍前より 23.5%増加している。2021 年度に実施予定であった修学旅行が、2022 年度に延期されていることも一因と考えられる。

修学旅行市場の動向（ホテル・旅館 16 軒、市内ホテル・旅館客室カバー率 7.4%）

対象年度	調査時点	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
2019年 (コロナ禍前)	2021年 7月時点 (宣言発出前)	(実績) 118,656泊				(実績) 132,881泊								251,537泊
2021年度	2021年 7月時点 (宣言発出前)	(実績) 8,046泊				(見通し) 175,219泊								183,265泊
2021年度	2021年 10月時点 (宣言解除後)	(実績) 9,516泊				(実績) 1,470泊	(見通し) 121,682泊						131,198泊	
2021年度	2022年 2月時点 (まん防期間)	(実績) 9,516泊				(実績) 1,470泊	(実績) 70,644泊				(見通し) 22,339泊	102,499泊		
2022年度	2022年 2月時点 (まん防期間)												310,570泊	
2021年度	コロナ禍前 からの増減率	▼93.2%				▼95.6%	△6.3%				▼32.8%	▼59.3%		
2022年度	コロナ禍前 からの増減率												△23.5%	

3.2 国内宿泊客の居住地の割合

- コロナ禍前後の宿泊客の居住地の内訳について聞いたところ、回答のあったホテル13軒（市内客室カバー率約5.7%）においては、京都市および京都府からの宿泊客の割合がコロナ禍に入ってから年々拡大していることが分かった。コロナ禍で近距離での旅行が増えたこと、また京都府民限定の宿泊キャンペーンなどが利用されやすい状況であったと考えられる。
- 一方、調査対象施設の旅館10軒（市内客室カバー率約4.2%）における国内宿泊客の居住地の割合は、コロナ前から極端な変化は見られなかった。

国内宿泊者居住地の割合（%）（ホテル13軒）

	2021年	2020年	2019年
京都市	10.2	9.6	6.1
京都府	9.5	6.9	6.0
関西	26.0	25.5	18.9
関東	36.3	40.1	46.5
その他国内	18.1	18.3	22.5
合計	100	100	100

国内宿泊者居住地の割合（%）（旅館10軒）

	2021年	2020年	2019年
京都市	3.2	3.2	3.2
京都府	1.5	1.7	2.5
関西	9.3	13.0	9.6
関東	58.5	53.8	57.4
その他国内	27.5	28.3	27.3
合計	100	100	100

※京都府は京都市を除く

※関西（大阪、兵庫、滋賀、奈良、和歌山）、関東（東京、千葉、埼玉、神奈川）

※集計値は、各施設が回答した値の単純平均であり、施設ごとの客室数や稼働率などによる重みづけはしていない

3.3 利用宿泊プランの変化

- コロナ禍前後の宿泊プランの内訳について聞いたところ、回答のあったホテル16軒（市内客室カバー率約7.4%）における利用宿泊プランの割合は、コロナ前から比較すると素泊まりの割合が減少し、朝食・夕食付きプランが増加した。宿泊者が感染予防の為、施設内で食事をする傾向が強くなった事や、ホテル側が付加価値や単価を高める為、新たに食事付きプランを打ち出された事などが可能性として考えられる。
- 調査対象施設の旅館10軒（市内客室カバー率約4.5%）における利用宿泊プランの割合は、コロナ禍前と比較して、素泊まりの割合が増加した。朝食・夕食付プランが標準である修学旅行が減少し、個人客は素泊まりを希望することが多かったためだと考えられる。

宿泊プランの割合（%）（ホテル16軒）

	2021年	2020年	2019年
素泊まり	57.1	62.0	61.5
朝食付きプラン	34.4	33.0	35.2
夕食付きプラン	0.1	0.1	0.1
朝食・夕食付きプラン	8.4	4.9	3.2
合計	100	100	100

宿泊プランの割合（%）（旅館10軒）

	2021年	2020年	2019年
素泊まり	32.5	24.3	23.0
朝食付きプラン	17.8	25.3	23.8
夕食付きプラン	4.5	5.5	5.7
朝食・夕食付きプラン	45.2	44.9	47.5
合計	100	100	100

※集計値は、各施設が回答した値の単純平均であり、施設ごとの客室数や稼働率などによる重みづけはしていない

3.4 宿泊施設数・客室数

(1) 営業許可施設数・客室数の推移

- 市内の宿泊施設数は2021年12月末時点で3,625軒となり、前年同月の3,863軒から238軒の減少となった。年間を通して、新規開業228件、廃業466件となり、廃業が新規開業の約2倍となった。長引くコロナ禍で廃業を選択する施設が増加したものと思われる。

年度末における施設数・客室数推移

	施設数						客室数			
	ホテル・旅館 施設数	簡易宿所 施設数	総施設数	前年比	新規開業	廃業	ホテル・旅館 客室数	簡易宿所 客室数	総客室数	前年比
2014年度 (2015.3月末)	542	460	1,002	-	106	-	26,260	2,929	29,189	-
2015年度 (2016.3月末)	532	696	1,228	△22.6%	255	29	26,297	3,489	29,786	△2.0%
2016年度 (2017.3月末)	550	1,493	2,043	△66.4%	838	23	27,753	6,134	33,887	△13.8%
2017年度 (2018.3月末)	575	2,291	2,866	△40.3%	909	86	29,172	9,247	38,419	△13.4%
2018年度 (2019.3月末)	624	2,990	3,614	△26.1%	919	171	33,608	12,539	46,147	△20.1%
2019年度 (2020.3月末)	656	3,337	3,993	△10.5%	663	284	36,243	17,228	53,471	△15.9%
2020年度 (2021.3月末)	679	3,104	3,783	▼5.3%	422	632	39,729	16,454	56,183	△5.1%

2021年月別の施設数・客室数（推計）推移

	施設数						客室数			
	ホテル・旅館 施設数	簡易宿所 施設数	総施設数	前年比	新規開業	廃業	ホテル・旅館 客室数	簡易宿所 客室数	総客室数	前年比
2021.1月末	672	3,140	3,812	▼3.2%	11	62	38,954	16,573	55,527	△5.6%
2021.2月末	675	3,126	3,801	▼4.2%	18	29	39,311	16,535	55,846	△5.9%
2021.3月末	679	3,104	3,783	▼5.3%	37	55	39,729	16,454	56,183	△5.1%
2021.4月末	684	3,100	3,784	▼5.6%	35	34	40,022	16,433	56,454	△5.2%
2021.5月末	688	3,074	3,762	▼5.6%	20	42	40,256	16,295	56,551	△5.1%
2021.6月末	688	3,057	3,745	▼5.5%	27	44	40,256	16,205	56,460	△5.8%
2021.7月末	687	3,045	3,732	▼4.9%	13	26	40,197	16,141	56,338	△5.3%
2021.8月末	686	3,024	3,710	▼5.0%	14	36	40,139	16,030	56,169	△2.4%
2021.9月末	688	2,999	3,687	▼5.3%	17	40	40,256	15,897	56,153	△1.9%
2021.10月末	684	2,989	3,673	▼5.1%	11	25	40,022	15,844	55,866	△1.2%
2021.11月末	685	2,974	3,659	▼5.7%	13	27	40,080	15,765	55,845	△0.6%
2021.12月末	682	2,943	3,625	▼6.2%	12	46	39,905	15,601	55,505	▼0.4%

2020年・2021年の年間の新規開業・廃業推移

	施設数						客室数			
	ホテル・旅館 施設数	簡易宿所 施設数	総施設数	前年比	新規開業	廃業	ホテル・旅館 客室数	簡易宿所 客室数	総客室数	前年比
2020年年間 2020年12月末時点	675	3,188	3,863	▼1.6%	518	580	38,944	16,789	55,734	△7.6%
2021年年間 2021年12月末時点	682	2,943	3,625	▼6.2%	228	466	39,905	15,601	55,505	▼0.4%

※客室数は年度末（毎年3月末）時点しか発表されないため、それ以外の月の数値は、年度末の施設あたり客室数をもとに補完推計して算出している。

(1) 2021 年に開業した主な宿泊施設

当協会の調査に基づく、2021 年の主な宿泊施設の開業は、以下の 47 施設 5,516 室であった。

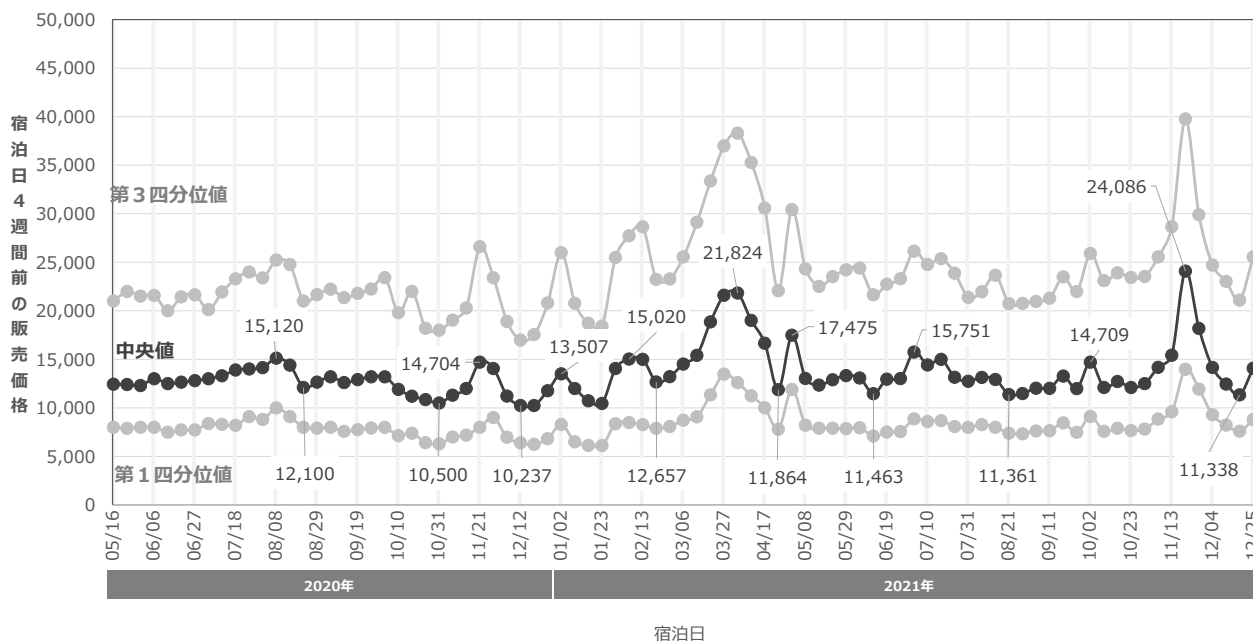
#	施設名	客室数	開業日	運営	備考
1	天然温泉 蓮花の湯 野乃 京都七条	471	1/13	共立メンテナンス	
2	メルディアステイ二条城	27	2/1	メルディアホテルズ・ マネジメント	
3	メルディアステイ二条城 IWAGAMI	33	2/1	メルディアホテルズ・ マネジメント	
4	THE REIGN HOTEL KYOTO	51	2/22	ALM	
5	ホテル センレン京都 東山清水	167	3/1	アレグロス TM ホテルマネジメント	
6	レフ京都八条口 by ベッセルホテルズ	124	3/1	ベッセルホテル	
7	京都シティガーデンズホテル	134	3/1	エルモンドホテルズ	
8	ホテル・アンドルームス京都七条	83	3/6	ソラーレ ホテルズ アンド リゾート	
9	ザ ロイヤルパークホテル 京都梅小路	246	3/12	ロイヤルパークホテルズアン ドリゾート	
10	ホテルウイングインターナショナル プレミアム京都三条	88	3/15	ミナシア	
11	フashionホテル京都	59	3/16	ウエルス・マネジメント	
12	パークホテル京都御池	114	3/16	パークホテルグループ& アプリコットキャピタル	
13	Hotel The M's Kyoto	153	3/19	ホテルエムズ	6/10 グランドオープン
14	コンフォートホテル京都堀川五条	153	3/24	グリーンズ	
15	ホテル エムズ・エスト七条	97	3/26	ホテルエムズ	6/10 グランドオープン
16	コンフォートホテル京都東寺	182	4/8	グリーンズ	グルメシティ九条東寺店跡地
17	OMO3 京都東寺	120	4/15	星野リゾート	
18	OMO5 京都三条	122	4/15	星野リゾート	
19	hotel tou nishinotoin kyoto by withceed	121	4/20	ウイズシード・ホスピタリティ・ マネジメント	旅館「京の宿 洛兆」跡地
20	ふふ 京都	40	4/26	Kato Pleasure Group	
21	アゴーラ 京都烏丸	140	4/30	アゴーラ・ホスピタリティーズ	
22	HOTEL ARU KYOTO 三条木屋町通り	55	5/1	ホテルケイエスピー	
23	コンフォートイン京都四条烏丸	63	5/17	グリーンズ	
24	ホテルリブマックス京都二条城西	115	5/19	リブ・マックス	
25	プリンススマートイン京都四条大宮	173	5/31	プリンスホテル	
26	嵐山邸宅 MAMA	10	6/1	DAY	阪急電鉄の元保養所
27	ホテルフォルツァ京都四条河原町	192	6/1	エフ・ジェイ ホテルズ	パチンコ店「京一四条店」跡地

#	施設名	客室数	開業日	運営	備考
28	カンデオホテルズ京都烏丸六角	106	6/6	カンデオ・ホスピタリティ・ マネジメント	旧伴家住宅を改修
29	ザ ロイヤルパーク キャンパス京都二条	180	6/6	ロイヤルパークホテルズ アンドリゾーツ	
30	Hotel Pagong with M's	106	6/10	ホテルエムズ	
31	HIYORI チャプター京都トリビュートポート フォリオホテル	203	6/18	マリオット・インターナショナル サンフロンティアホテル マネジメント	
32	チサン スタンダード 京都堀川五条	118	7/1	ソラーレ ホテルズ アンド リゾーツ	
33	モクシー京都二条	158	7/1	二条ホスピタリティ	
34	アゴーラ 京都四条	80	7/1	アゴーラ・ホスピタリティーズ	
35	ORI KYOTO HOTEL	28	7/9	Wayfarer	
36	MIMARU SUITES 京都四条	37	7/22	コスモスホテルマネジメント	
37	HOTEL TAVINOS 京都	190	7/30	藤田観光	京都銀行河原町支店建替え
38	ホテルアベストグランデ京都清水	150	7/30	アベストコーポレーション	
39	SH by the square hotel 京都木屋町	75	8/1	ソラーレ ホテルズ アンド リゾーツ	
40	ROKU KYOTO, LXR Hotels & Resorts	114	9/16	東急リゾーツ&ステイ	しょうざんボウル跡地、ヒルトンの ラグジュアリーブランド
41	ザ・ホテル京都パレス BW シグニチャー コレクション by ベストウエスタン	57	10/1	ランドーナジャパン	
42	オークウッドホテル京都御池	120	10/1	オークウッド・プロパティ・ マネジメント・サービス東京 有限会社	
43	眞松庵	4	10/14	SSA	
44	hotel MONday 京都丸太町	100	11/1	JHAT	
45	OMO5 京都祇園	36	11/5	星野リゾート	
46	タッセルイン京都 河原町二条	40	11/6	西松地所	
47	イビスタイル京都四条	281	11/13	アコーホテルズ	

3.5 宿泊予約サイトにおける客室販売価格

宿泊日の4週間前に京都市内の宿泊施設の販売価格を集計したところ、2021年の京都市内ホテルの予約サイト上の価格の中央値は、3月末から4月頭にかけて2万円を超える価格になったものの、それ以降は緊急事態宣言やまん延防止等重点措置に連動して、おおむね15,000円弱で推移した。11月に入ると価格が上昇し、11月下旬の週末の価格の中央値は約24,000円にまで上昇した。

調査期間	2020年4月末以降、概ね毎週火曜日に価格検索を実施
調査対象	Booking.comで京都市内のホテル・旅館・簡易宿所等の宿泊施設を検索したときに表示される価格 (類似サイトと比較して、データの収集が容易であることからBooking.comを採用している)
検索条件	「1室2名食事なし、税抜価格、毎週土曜日にチェックインし翌日の日曜日にチェックアウト」 この条件で表示される1,500件程度のうち、重複や不詳などを除いた約1,000件から価格を集計。 (京都市内の宿泊施設約4,000件の25%程度をカバー)
集計条件	異常に高額な施設(外れ値)の影響を回避するため、平均値ではなく中央値を算出。 予約サイトに掲載されている価格は、最終的に購入されなかった客室の価格も含まれることになる。 一方で、P17に掲載した平均客室単価(ADR)は、実際に購入された価格をもとに算出された値であるため、これらの値は単純に比較できるものではない。



第3四分位値： 価格が低い施設から順番に並べたとき、初めから数えて75%の位置にあたる施設の価格。

中央値： 価格が低い施設から順番に並べたとき、初めから数えて50%の位置にあたる施設の価格。

第1四分位値： 価格が低い施設から順番に並べたとき、初めから数えて25%の位置にあたる施設の価格。

4. 京都観光客の動向分析

4.1 スマートフォンの位置情報に基づく国内観光客の人流

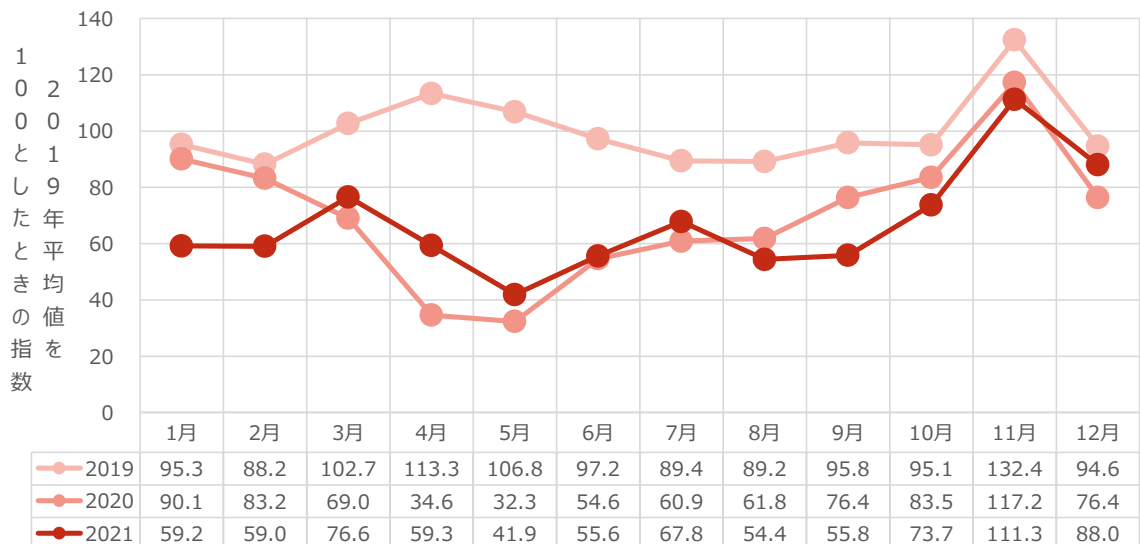
(1) 市内39地点の来街者数の月次推移

- スマートフォンの位置情報に基づく市内39地点の来街者の指数（2019年の平均値を100とする）は、2021年は66.9となり、2020年の70.0から3.1ポイント減となった。2019年からは33.1ポイント減となった。2021年は度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による移動自粛が影響していたと考えられる。

京都市内39地点来街者数指数平均値の推移（2019年の平均値を100とする）

	2021年	2020年	前年比 (pt)	2019年	前々年比 (pt)
指数	66.9	70.0	▼3.1	100	▼33.1

京都市内39地点における日本人来街者指数の推移



(2) 年代別の動向

- 京都駅周辺の来訪者を年代別に分析すると、コロナ禍前は60代以上が占める割合が30%を超えていたが、コロナ禍ではこの割合が30%下回り続け、相対的に20代などの若年層の割合が増えた。ただし、2021年11月に限ると、60代以上が35.0%とコロナ前を上回る高い割合となった。高齢者のワクチン接種が進み、旅行再開が進んだことが影響していると考えられる。一方、12月はオミクロン株の感染不安が影響してか、再び高齢者の割合が小さくなった。

京都駅周辺の来街者の年代別構成比

年	月	20代	30代	40代	50代	60代	70代～
2020	1	17.8%	16.5%	18.3%	16.0%	15.6%	15.8%
2020	2	19.7%	16.2%	17.9%	16.5%	15.6%	14.2%
2020	3	23.2%	16.0%	17.7%	16.5%	14.7%	11.9%
2020	4	21.0%	17.6%	18.7%	16.2%	15.2%	11.3%
2020	5	20.2%	17.3%	18.6%	16.2%	15.2%	12.5%
2020	6	19.6%	16.3%	17.7%	15.9%	15.9%	14.5%
2020	7	21.0%	16.7%	17.9%	16.2%	15.3%	12.9%
2020	8	22.7%	17.2%	18.2%	15.9%	14.0%	11.8%
2020	9	21.9%	16.5%	17.7%	15.7%	15.0%	13.2%
2020	10	19.3%	15.9%	17.0%	15.6%	15.9%	16.3%
2020	11	19.5%	15.5%	16.1%	15.4%	16.9%	16.7%
2020	12	22.3%	16.6%	17.6%	15.5%	15.1%	13.1%
2021	1	23.2%	17.8%	18.6%	16.0%	13.6%	10.7%
2021	2	21.4%	16.5%	18.5%	16.4%	14.7%	12.4%
2021	3	20.8%	15.8%	18.2%	16.4%	15.1%	13.8%
2021	4	21.0%	16.7%	18.0%	15.9%	15.4%	13.0%
2021	5	22.7%	17.7%	17.5%	15.9%	14.9%	11.3%
2021	6	20.5%	16.9%	18.1%	15.8%	15.6%	13.1%
2021	7	22.1%	17.4%	18.0%	15.5%	14.5%	12.6%
2021	8	24.1%	17.8%	18.7%	15.2%	13.6%	10.6%
2021	9	22.1%	17.5%	17.4%	15.5%	14.8%	12.7%
2021	10	19.6%	16.4%	17.0%	15.6%	16.0%	15.4%
2021	11	18.7%	15.1%	16.0%	15.1%	17.4%	17.6%
2021	12	21.0%	17.6%	17.7%	15.1%	14.8%	13.8%

京都駅周辺の来街者指数（2019年平均値基準）

年	月	20代	30代	40代	50代	60代	70代～
2020	4	32	27	29	25	23	17
2020	5	31	26	28	24	23	19
2020	6	59	49	53	48	47	43
2020	7	70	55	59	54	51	43
2020	8	72	55	58	51	45	38
2020	9	85	64	68	61	58	51
2020	10	82	67	72	66	67	69
2020	11	105	83	86	82	90	89
2020	12	84	63	66	59	57	49
2021	1	61	47	49	42	36	28
2021	2	60	46	52	46	41	35
2021	3	75	57	66	59	54	50
2021	4	64	51	54	48	47	39
2021	5	47	37	36	33	31	23
2021	6	53	44	47	41	40	34
2021	7	75	59	61	53	49	43
2021	8	70	51	54	44	39	31
2021	9	60	47	47	42	40	34
2021	10	73	61	63	58	59	57
2021	11	96	78	82	78	89	90
2021	12	102	85	85	73	72	67

出所) スマートフォンの位置情報 (KDDI Location Analyzer) をもとに集計

4.2 京都市内4百貨店の売上げ

- 免税件数は前年から95.3%減と大幅に縮小したが、免税単価の上昇により、免税売上額は前年より48.9%減に留まった。
- 免税以外の売上げを含めた総売上高は、日本人による消費がある程度改善されたため、前年より5.8%増加した。

年間比較

	2021年	2020年	前年比 前年差	2019年	前々年比 前々年差
免税件数	1,793	38,227	▼95.3%	357,919	▼99.5%
免税単価(円)	637,199	58,512	△989.0%	50,087	△1172.2%
免税売上額(億円)	11.4	22.4	▼48.9%	179.3	▼93.6%
総売上額(億円)	17,511.1	16,553.9	△5.8%	20,281.3	▼13.7%
免税売上割合	0.7%	1.4%	▼0.7ポイント	7.9%	▼91.7%

※総売上額には免税対象とならない飲食サービス売上(税別)も含まれる。

免税売上額(億円)

月	2021年	2020年	前年比 (%)	2019年	前々年比 (%)
1月	1.07	15.67	▼93.2%	12.23	▼91.2%
2月	1.00	3.78	▼73.6%	16.77	▼94.1%
3月	1.00	0.55	△79.8%	17.27	▼94.2%
4月	0.62	0.39	△58.5%	19.93	▼96.9%
5月	1.40	0.24	△488.1%	16.15	▼91.4%
6月	1.12	0.33	△242.0%	14.65	▼92.4%
7月	0.58	0.23	△151.5%	14.22	▼95.9%
8月	0.68	0.22	△209.2%	12.42	▼94.6%
9月	0.79	0.07	△1063.7%	11.84	▼93.3%
10月	1.16	0.10	△1045.5%	13.54	▼91.4%
11月	0.94	0.17	△441.6%	16.00	▼94.1%
12月	1.09	0.62	△75.5%	14.26	▼92.4%

免税件数

月	2021年	2020年	前年比 (%)	2019年	前々年比 (%)
1月	200	28,602	▼99.3%	27,039	▼99.3%
2月	150	7,464	▼98.0%	30,352	▼99.5%
3月	189	1,050	▼82.0%	32,539	▼99.4%
4月	132	146	▼9.6%	35,874	▼99.7%
5月	122	90	△35.6%	31,825	▼99.6%
6月	117	180	▼35.0%	31,972	▼99.6%
7月	133	176	▼24.4%	30,118	▼99.6%
8月	126	103	△22.3%	25,627	▼99.5%
9月	102	61	△67.2%	25,804	▼99.6%
10月	149	59	△152.5%	27,798	▼99.5%
11月	189	98	△92.9%	31,459	▼99.4%
12月	184	198	▼7.1%	27,512	▼99.3%

免税単価 (円)

月	2021年	2020年	前年比 (%)	2019年	前々年比 (%)
1月	535,992	54,801	△878.1%	45,231	△1085.0%
2月	664,883	54,801	△1214.5%	55,263	△1103.1%
3月	527,253	52,788	△898.8%	53,062	△893.7%
4月	466,628	266,101	△75.4%	55,548	△740.0%
5月	1,143,455	263,567	△333.8%	50,735	△2153.8%
6月	955,716	181,626	△426.2%	45,816	△1986.0%
7月	434,071	130,409	△232.9%	47,219	△819.3%
8月	536,000	212,073	△152.7%	48,468	△1005.9%
9月	775,132	111,376	△596.0%	45,893	△1589.0%
10月	778,833	171,709	△353.6%	48,706	△1499.0%
11月	495,550	176,469	△180.8%	50,851	△874.5%
12月	592,199	313,614	△88.8%	51,832	△1042.5%

国・地域別構成比

順位	順位変動	2021年				2020年		2019年	
		国・地域	構成比	前年差	前々年差	国・地域	構成比	国・地域	構成比
1	—	中国	97.0%	△21.9ポイント	16.8ポイント	中国	75.1%	中国	80.2%
2	—	台湾	2.1%	▼6.4ポイント	▼2.4ポイント	台湾	8.5%	台湾	4.5%
3	↑	韓国	0.4%	▼1.9ポイント	▼1.6ポイント	香港	4.5%	香港	3.2%
4	↓	香港	0.1%	▼4.4ポイント	▼2.2ポイント	韓国	2.3%	韓国	2.0%
5	—	アメリカ	0.1%	▼1.1ポイント	▼1.7ポイント	アメリカ	1.2%	アメリカ	1.8%

4.3 京都総合観光案内所（京なび）利用者数 ※JR京都駅ビル2階

2021年の京都総合観光案内所（京なび）は臨時休業や開所時間の短縮により、来所者数が前年から50.4%減となった。

相談者数（人）	2021年	2020年	前年比・差	2019年	前々年 同月比・差
日本人	88,988	164,855	▼45.8%	280,770	▼68.3%
外国人	2,354	33,074	▼92.9%	214,267	▼98.9%
合計	91,342	197,329	▼53.7%	495,037	▼81.5%
外国人比率	2.6%	16.8%	▼14.2ポイント	43.3%	▼40.7ポイント
来所者数 (自動カウント機による)	241,575	486,789	▼50.4%	996,913	▼75.8%

相談者数

月	2021年	2020年	前年比 (%)	2019年	前々年比 (%)
1月	3,663	41,757	▼91.2%	28,482	▼87.1%
2月	4,746	34,593	▼86.3%	47,162	▼89.9%
3月	15,039	24,711	▼39.1%	66,715	▼77.5%
4月	6,370	1,686	△277.8%	24,762	▼74.3%
5月	全日休業	全日休業	—	34,277	—
6月	〃	3,155	—	18,881	—
7月	〃	7,449	—	51,538	—
8月	〃	6,415	—	56,933	—
9月	〃	12,522	—	52,082	—
10月	13,186	17,783	▼25.9%	62,165	▼78.8%
11月	28,581	32,837	▼13.0%	68,330	▼58.2%
12月	19,757	14,421	△37.0%	50,056	▼60.5%

※臨時休業期間：2020年4月11日～6月18日、2021年5月1日～9月30日

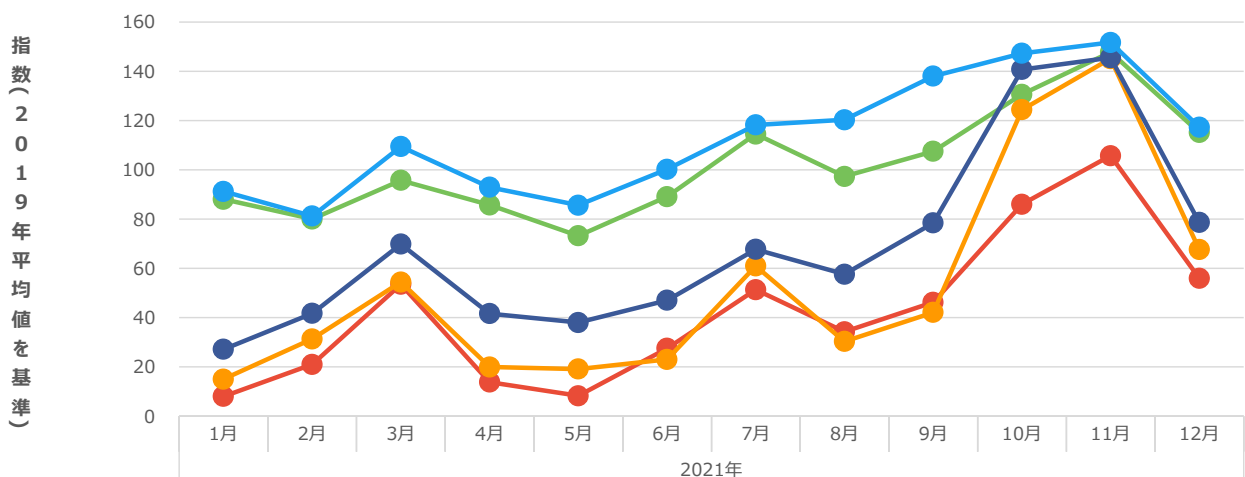
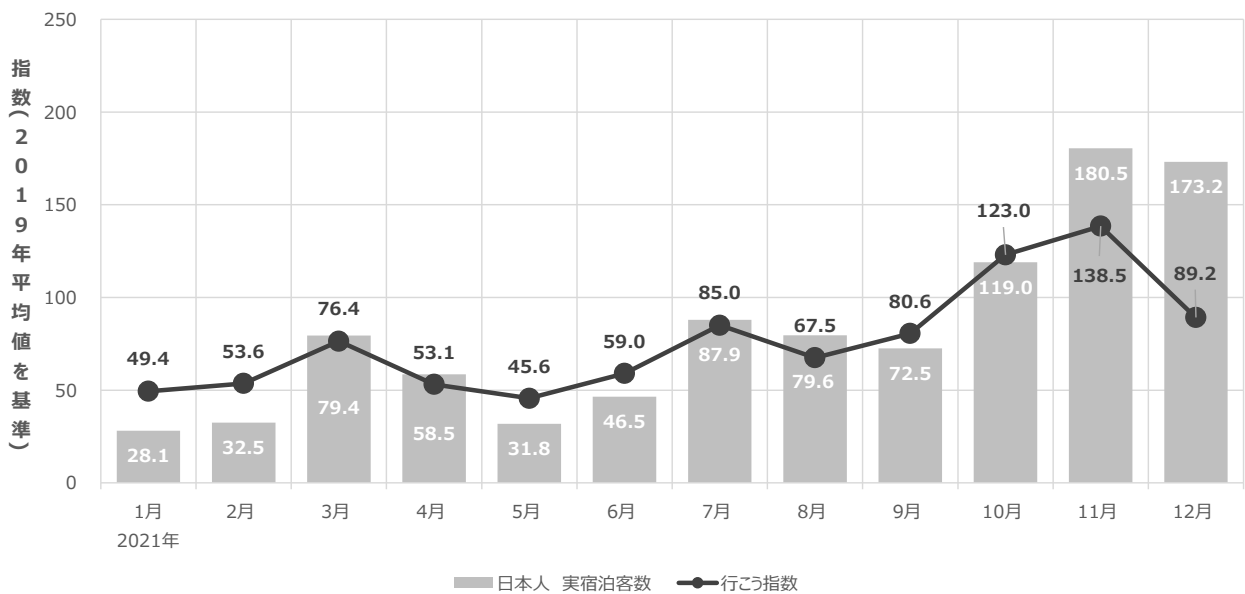
外国人相談者における国・地域別割合

順位	順位 変動	2021年		順位 変動	2020年		2019年	
		国・地域名	構成比		国・地域名	構成比	国・地域名	構成比
1	↑	アメリカ	28.0%	—	中国	21.2%	中国	17.7%
2	↓	中国	10.5%	—	アメリカ	8.7%	アメリカ	10.1%
3	↑	インド	9.8%	↑	台湾	8.7%	韓国	6.8%
4	↑	ベトナム	7.9%	↑	オーストラリア	7.7%	フランス	6.6%
5	↑	フィリピン	6.5%	↓	フランス	4.8%	オーストラリア	6.2%

4.4 国内旅行者の入洛意向

- 2021年の「行こう指数」（インターネット上における京都観光への訪問意向に関するデータをもとに集計）は、緊急事態宣言の影響で上半期に低迷したが、10月以降は緊急事態宣言が解除されたことで回復傾向にある
- 特に、10月11月はコロナ禍前2019年の指数を大幅に上回っており、これまで長く続いた自粛期間の反動により、「行こう指数」が急激に高まったものとみられる。
- また、11月12月は実宿泊数が「行こう指数」を大幅に上回る水準に達しており、調査対象施設が増加傾向にあることも影響していることに留意が必要ではあるが、インターネット上での動向だけでは捉えきれない旅行需要（団体旅行、雑誌等による情報収集）が増えたことや、京都府民割による地元市民の宿泊が増えた事が要因と考えられる。

京都観光訪問意向指数（行こう指数）の推移

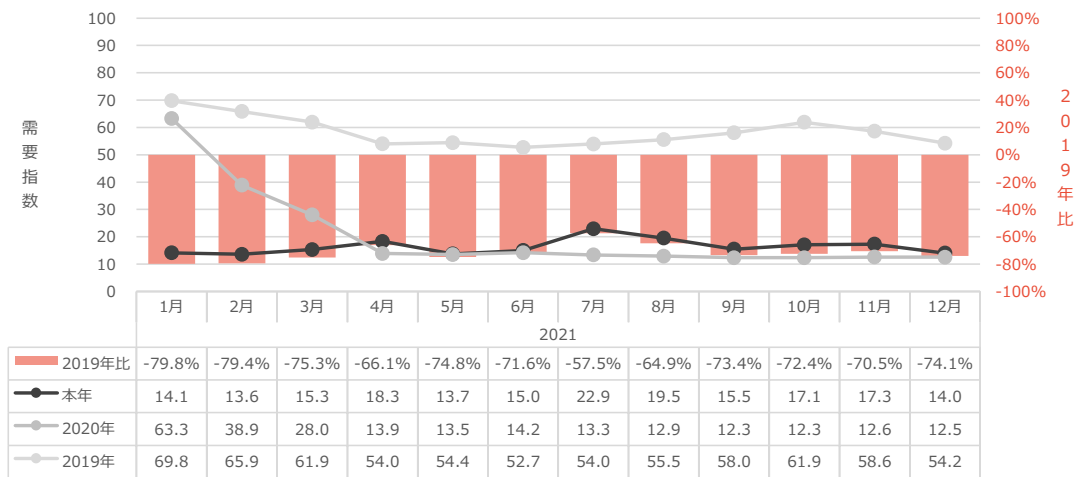


観光情報サイト	8.0	21.0	53.5	13.8	8.2	27.5	51.3	34.2	46.2	86.0	105.7	55.9
施設公式サイト	88.0	80.0	95.7	85.7	73.2	89.1	114.5	97.3	107.5	130.6	147.7	115.1
グルメサイト	15.0	31.3	54.4	19.9	19.1	23.0	60.9	30.3	42.1	124.4	145.1	67.6
宿泊予約サイト	27.1	41.7	69.8	41.6	38.0	47.0	67.7	57.6	78.4	140.7	145.5	78.6
ツイート数	91.2	81.2	109.4	92.9	85.6	100.2	118.2	120.3	138.0	147.3	151.7	117.3

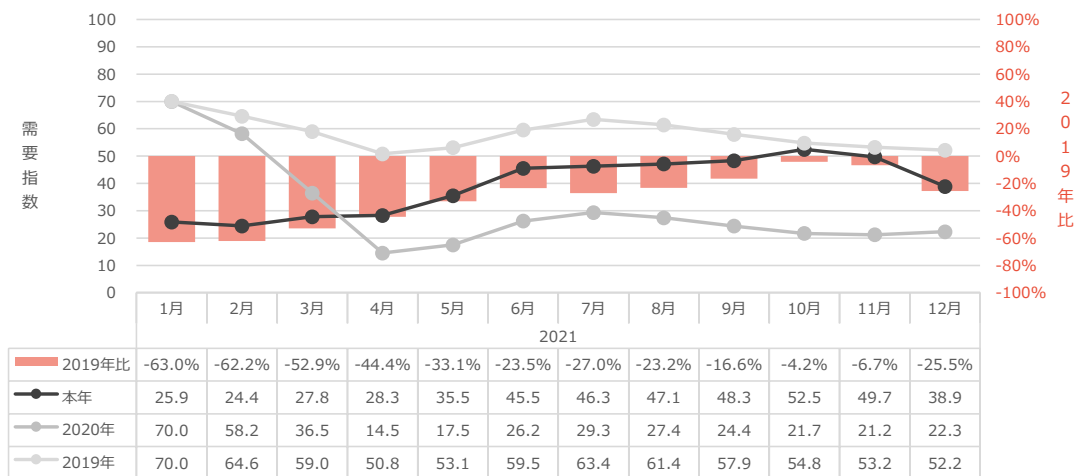
4.5 外国人観光客の訪日意向

- Google における宿泊および航空に関する検索行動の公開データ（Google Travel Trends）によると、全世界からの訪日旅行に関する需要指数は、7～8月のみ東京五輪の影響で一時的に指数が回復したものの、それ以外の月はおおむね前々年から7割減で推移した。
- 全世界間の国際旅行に関する需要指数は徐々に回復傾向にあり、10～11月はコロナ禍前と同水準にまで回復した。しかしながら、オミクロン株の影響により12月は減少傾向となった。これを主要地域別に比較すると、米国やフランスは、他国と比べると需要指数の回復が顕著であった。欧米では入国制限が緩和されたことで、国際旅行の機運が高まっていたことが分かる。一方で、シンガポールなどのアジア諸国は2020年に引き続き低水準に留まった。欧米と比べると水際対策が厳しく、国際旅行の潜在需要は比較的少ないと考えられる。

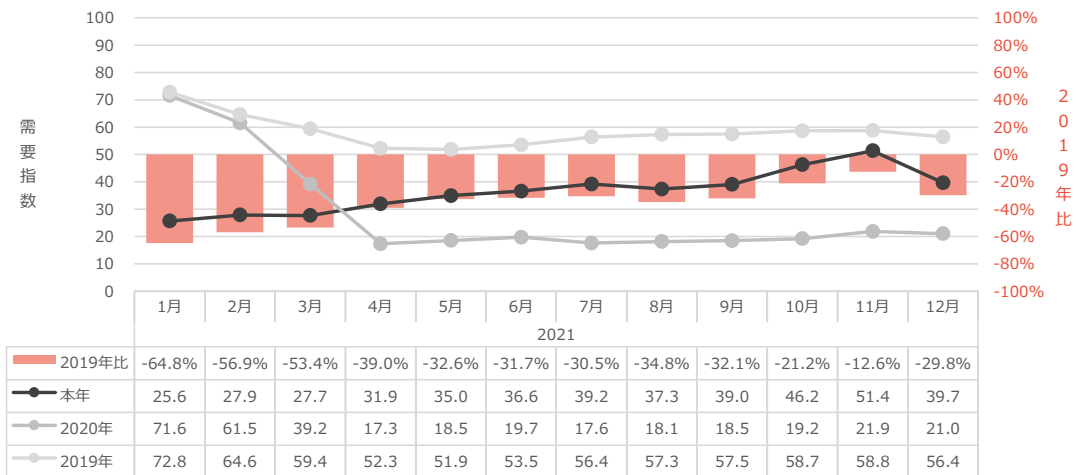
全世界 → 日本 への宿泊・航空潜在需要
(インターネット検索量)



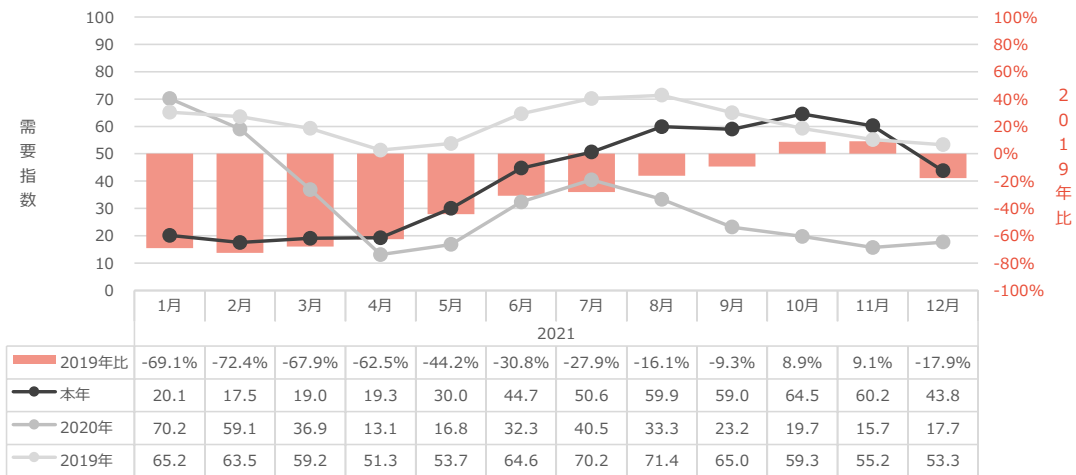
全世界 → 全世界 への宿泊・航空潜在需要
(インターネット検索量)



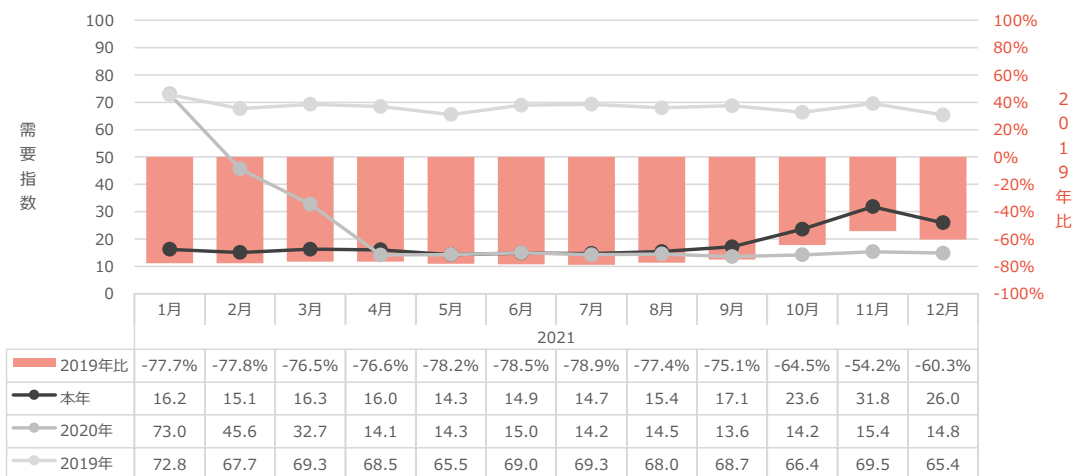
全世界 → アメリカ への宿泊・航空潜在需要
(インターネット検索量)



全世界 → フランス への宿泊・航空潜在需要
(インターネット検索量)



全世界 → シンガポール への宿泊・航空潜在需要
(インターネット検索量)



出所) Google Travel Trends をもとに集計

5. その他資料

5.1 京都観光に影響を及ぼした主な出来事

2020年	4/8～	感染拡大が収束するまでは京都への観光を自粛するよう呼びかけ
	4/16～5/21	政府 緊急事態宣言（1回目）を京都府を含む全都道府県に拡大
	5/15	「葵祭」中止
	6/19～	政府 観光振興は府県をまたぐものも含めて徐々に緩和
		京都市・協会
	6/19～9/30	飲食店・宿泊施設の利用促進キャンペーン 「地元応援！京都で食べよう、泊まろうキャンペーン」
	7/22～12/27	政府 「Go To トラベルキャンペーン」※東京発着は10/1～
	7/1～7/31	「祇園祭」中止
	8/16	「京都五山送り火」規模縮小
	10/22	「時代祭」中止
	12/28～	政府 全世界からの外国人の新規入国禁止
	2021年	1/14～2/28
2/17～		新型コロナワクチン接種開始
4/12～4/24		政府 まん延防止等重点措置を適用
4/25～6/20		政府 緊急事態宣言（3回目）
5/15		「葵祭」中止
6/21～7/11		政府 まん延防止等重点措置を適用
7/1～7/31		「祇園祭」中止※鉾立ては実施
8/16		「京都五山送り火」規模縮小
8/2～8/19		政府 まん延防止等重点措置を適用
8/20～9/30		政府 緊急事態宣言（4回目）
10/22～2/1		京都府 宿泊促進キャンペーン「きょうと魅力再発見旅プロジェクト」
10/22		「時代祭」中止
11/1～12/31		京都市 ワクチン接種券等提示による飲食店・物産割引キャンペーン 「KYOTO again!～京のため、明日のためにできること～」

5.2 航空定期路線の就航状況

- 2021年の航空定期路線の座席数は、世界全体をみると2019年からの減少幅は着実に小さくなっており、12月時点ではコロナ禍前約2割減まで回復した。特に、ワクチン接種が他国よりも進んでいた中国や欧米諸国は早い段階から定期便の回復が顕著であった。各国の2019年伸び率の差は、新型コロナウイルスのデルタ株やオミクロン株の拡大に対する水際対策の方針が影響する結果となった。
- 日本では、2020年末からの全世界からの新規入国停止措置が続き、さらに3月から1日あたりや1便あたりの入国人数に制限が設けられていた。11月には感染拡大が落ち着き、ビジネス目的や留学生の入国制限が一時緩和されたものの、オミクロン株の影響で再び入国制限が強化された。

航空定期便路線座席数 月次 前年伸び率

		世界	日本	韓国	中国	シンガポール	インド	UAE	豪州	アメリカ	イギリス	フランス	ドイツ	スペイン
2020年	1月	△3.0	△3.7	△6.5	△7.2	△4.2	△3.4	▼0.6	▼0.7	△2.8	▼2.3	△1.0	▼5.3	▼2.7
	2月	▼5.0	△0.6	▼3.8	▼50.0	▼7.7	△9.5	△1.5	△0.4	△5.9	△0.9	△4.6	▼2.6	△2.3
	3月	▼18.9	▼18.6	▼49.4	▼41.5	▼43.8	△0.7	▼26.1	▼10.6	▼1.2	▼22.6	▼19.1	▼33.6	▼26.6
	4月	▼67.2	▼46.0	▼60.0	▼45.9	▼93.3	▼65.6	▼87.9	▼87.5	▼55.0	▼89.9	▼91.2	▼92.5	▼93.0
	5月	▼70.1	▼49.6	▼51.6	▼31.2	▼96.3	▼53.8	▼85.2	▼90.7	▼75.9	▼85.9	▼91.9	▼90.0	▼87.0
	6月	▼66.6	▼49.0	▼52.9	▼22.0	▼95.0	▼69.1	▼85.8	▼87.3	▼68.7	▼89.5	▼88.4	▼87.7	▼91.0
	7月	▼55.1	▼43.0	▼51.2	▼17.0	▼93.7	▼57.1	▼75.1	▼82.4	▼52.0	▼77.6	▼64.0	▼72.1	▼64.5
	8月	▼49.4	▼39.4	▼43.7	▼9.4	▼92.6	▼62.3	▼69.4	▼82.2	▼48.0	▼62.3	▼49.8	▼64.0	▼46.2
	9月	▼50.1	▼46.7	▼51.1	▼4.4	▼92.8	▼54.7	▼68.8	▼80.9	▼51.5	▼65.1	▼56.0	▼67.0	▼61.1
	10月	▼48.4	▼46.4	▼44.5	▼1.1	▼92.2	▼47.6	▼67.3	▼79.1	▼48.6	▼67.6	▼61.4	▼70.1	▼67.5
	11月	▼48.0	▼44.5	▼44.9	▼3.6	▼90.9	▼44.1	▼66.2	▼74.4	▼42.7	▼81.0	▼75.0	▼79.5	▼72.5
	12月	▼45.9	▼42.7	▼52.1	▼4.2	▼88.0	▼36.9	▼63.1	▼54.3	▼43.2	▼75.6	▼66.7	▼80.2	▼67.2
2021年	1月	▼48.3	▼48.2	▼55.4	▼14.4	▼87.2	▼32.1	▼61.3	▼60.7	▼43.9	▼81.6	▼64.6	▼82.0	▼69.6
	2月	▼48.9	▼53.6	▼45.1	△46.1	▼85.6	▼32.6	▼60.8	▼59.1	▼45.0	▼89.6	▼71.5	▼86.9	▼79.5
	3月	▼31.9	▼48.3	△11.2	△80.6	▼74.2	▼21.4	▼45.1	▼40.4	▼33.6	▼87.5	▼68.5	▼77.3	▼70.2
	4月	△73.6	▼9.3	△41.7	△95.0	△131.5	△134.8	△288.0	△409.1	△52.8	△0.9	△173.7	△152.9	△251.8
	5月	△92.0	▼14.5	△13.8	△57.9	△353.1	△19.2	△229.2	△619.7	△201.9	△4.1	△262.9	△108.6	△144.2
	6月	△77.3	▼25.1	△16.8	△23.3	△216.5	△59.4	△171.3	△373.1	△153.9	△81.7	△211.6	△114.8	△412.3
	7月	△51.2	▼18.6	△11.7	△27.4	△192.9	△43.4	△87.3	△149.3	△75.1	△48.5	△74.5	△67.8	△91.9
	8月	△29.7	▼16.5	▼6.4	▼15.2	△147.1	△93.2	△56.2	△54.8	△62.4	△15.8	△36.8	△43.5	△38.5
	9月	△38.0	▼9.3	△8.1	▼2.5	△157.5	△68.6	△65.2	△36.2	△76.3	△44.4	△39.3	△57.2	△84.8
	10月	△37.6	▼4.8	△0.4	▼5.0	△143.0	△48.9	△85.3	△26.4	△67.6	△74.2	△68.7	△88.6	△130.3
	11月	△38.6	△3.7	▼11.7	▼15.5	△134.2	△51.8	△102.1	△38.5	△56.3	△222.8	△205.1	△192.7	△187.9
	12月	△39.8	△10.0	△2.3	▼7.3	△119.9	△40.2	△98.2	△29.8	△55.2	△169.1	△131.7	△203.5	△156.2

航空定期便路線座席数 月次 2019年伸び率

		世界	日本	韓国	中国	シンガポール	インド	UAE	豪州	アメリカ	イギリス	フランス	ドイツ	スペイン
2021年	3月	▼44.8	▼57.9	▼43.8	△5.7	▼85.5	▼20.8	▼59.4	▼46.8	▼34.4	▼90.3	▼74.5	▼84.9	▼78.1
	4月	▼43.0	▼51.0	▼43.3	△5.5	▼84.5	▼19.3	▼53.1	▼36.5	▼31.2	▼89.8	▼76.0	▼81.0	▼75.5
	5月	▼42.7	▼56.9	▼44.9	△8.7	▼83.1	▼44.9	▼51.4	▼32.8	▼27.2	▼85.3	▼70.4	▼79.2	▼68.2
	6月	▼38.7	▼59.9	▼45.8	△0.5	▼83.1	▼48.2	▼57.6	▼37.7	▼19.2	▼75.8	▼57.4	▼70.0	▼52.1
	7月	▼32.1	▼53.6	▼45.6	△5.7	▼81.6	▼38.5	▼53.3	▼56.0	▼16.0	▼66.7	▼37.2	▼53.1	▼31.8
	8月	▼34.3	▼49.4	▼47.3	▼23.2	▼81.7	▼27.2	▼52.2	▼72.5	▼15.6	▼56.4	▼31.3	▼48.3	▼25.5
	9月	▼31.2	▼51.7	▼47.1	▼6.8	▼81.5	▼23.6	▼48.4	▼74.0	▼14.5	▼49.7	▼38.7	▼48.1	▼28.0
	10月	▼29.0	▼49.0	▼44.3	▼6.0	▼80.9	▼22.0	▼39.4	▼73.6	▼13.8	▼43.6	▼35.0	▼43.6	▼25.1
	11月	▼27.9	▼42.4	▼51.3	▼18.5	▼78.8	▼15.2	▼31.6	▼64.5	▼10.4	▼38.8	▼23.8	▼40.1	▼20.9
	12月	▼24.3	▼37.0	▼51.0	▼11.2	▼73.5	▼11.6	▼26.9	▼40.7	▼11.8	▼34.2	▼22.8	▼39.8	▼15.9

出所) OAG レポート (<https://www.oag.com/ja/coronavirus-airline-schedules-data-1>) をもとに集計

5.3 為替レートの推移

月平均Telegraphic Transfer Buying（「外貨」を「円」に交換するときのレート）

数値が小さくなるほど円高となり、外国人が訪日旅行をする際不利となる

時点	米ドル	ユーロ	英ポンド	豪ドル	香港ドル	台湾ドル	中国 人民元	タイ バーツ	韓国 ウォン	
2019	1月	108.0	123.0	136.8	76.0	13.5	0.281	15.8	3.35	9.5
	2月	109.4	123.8	139.6	76.9	13.6	0.277	16.1	3.45	9.7
	3月	110.2	124.2	142.6	76.7	13.7	0.275	16.3	3.43	9.6
	4月	110.7	124.1	141.7	77.6	13.8	0.274	16.3	3.43	9.6
	5月	108.9	121.4	136.8	74.2	13.6	0.282	15.6	3.38	9.1
	6月	107.1	120.5	133.0	73.1	13.4	0.288	15.4	3.39	9.0
	7月	107.3	120.0	131.2	73.6	13.4	0.293	15.4	3.44	9.0
	8月	105.3	116.8	125.3	70.0	13.1	0.288	14.7	3.38	8.6
	9月	106.5	116.7	128.5	71.1	13.3	0.288	14.8	3.43	8.8
	10月	107.2	117.9	132.4	71.4	13.4	0.282	14.9	3.48	8.9
	11月	107.9	118.8	136.3	72.3	13.5	0.278	15.2	3.52	9.1
	12月	108.2	119.8	139.0	73.1	13.6	0.272	15.3	3.54	9.1
2020	1月	108.4	119.9	138.9	72.9	13.6	0.272	15.5	3.51	9.2
	2月	109.0	118.5	138.7	71.4	13.7	0.272	15.4	3.44	9.0
	3月	106.4	117.5	129.2	65.0	13.4	0.278	15.0	3.28	8.6
	4月	107.0	115.9	130.0	65.8	13.5	0.276	15.0	3.23	8.6
	5月	106.4	115.5	127.8	68.1	13.4	0.277	14.8	3.27	8.6
	6月	106.6	119.6	130.8	72.1	13.5	0.274	14.9	3.37	8.7
	7月	105.8	120.7	131.1	73.0	13.4	0.273	14.9	3.33	8.7
	8月	105.1	123.9	135.3	74.3	13.3	0.275	15.0	3.32	8.8
	9月	104.8	123.2	133.3	74.5	13.2	0.274	15.2	3.29	8.8
	10月	104.3	122.4	132.6	73.0	13.2	0.270	15.4	3.29	9.0
	11月	103.4	122.0	133.9	73.9	13.0	0.271	15.5	3.35	9.2
	12月	102.8	124.7	135.4	76.0	13.0	0.269	15.6	3.37	9.3
2021	1月	102.7	124.7	137.5	78.1	12.9	0.268	15.7	3.38	9.3
	2月	104.4	125.9	141.9	79.6	13.2	0.263	16.1	3.44	9.3
	3月	107.6	127.9	146.6	81.8	13.6	0.257	16.4	3.45	9.4
	4月	108.1	128.9	147.0	82.0	13.6	0.257	16.4	3.41	9.6
	5月	108.2	131.2	150.0	82.8	13.6	0.250	16.7	3.41	9.5
	6月	109.1	131.3	150.6	82.2	13.8	0.250	16.9	3.43	9.6
	7月	109.3	128.9	148.4	80.0	13.8	0.252	16.7	3.30	9.5
	8月	108.9	127.8	147.6	78.2	13.7	0.251	16.7	3.24	9.3
	9月	109.2	128.3	147.5	78.7	13.7	0.249	16.8	3.26	9.2
	10月	112.1	129.7	150.8	81.6	14.1	0.245	17.3	3.30	9.4
	11月	113.1	128.8	149.6	81.5	14.2	0.242	17.6	3.37	9.5
	12月	112.9	127.2	147.4	79.4	14.2	0.242	17.6	3.32	9.4

出所) 三菱UFJ リサーチ & コンサルティング 外国為替相場

6. 本資料の利用について

本資料の数値を引用する場合は、「出典：京都市観光協会データ年報(2021)」を明示してください。
ただし、P18 の STR データについては、STR の書面による許諾を伴わない再出版もしくは二次使用は固く禁じられています。なお、報道・メディア媒体への掲載については、（公社）京都市観光協会（担当：堀江）までお問合せください。

なお、調査対象施設の個別の名称やデータは、各施設の経営に関わる機密事項のため、非公開としております。
あらかじめご了承ください。

<京都観光総合調査との関連について>

京都市全体の観光動向の把握については、ほぼすべての市内宿泊施設（旅館業法許可施設）を対象とする「京都観光総合調査」（京都市から年 1 回発表）が基本指標となる。当調査は、インバウンドマーケットの傾向を把握するための、京都市内の主なホテルを対象とするサンプル調査であるため、その他ホテルや旅館、簡易宿所、いわゆる「民泊」等に宿泊した外国人客は含まれておらず、訪日外客数（日本全体）との比較等も参考分析という位置づけとなる。

<本件に関する問い合わせ先>

公益社団法人京都市観光協会
TEL : 075-213-0070 e-mail : marketing@kyokanko.or.jp
担当：マーケティング課 神田、堀江